

2024年度
定時総会
議案書

令和6年 5月25日(土)

(一社)静岡県中小企業診断士協会 事務局

一般社団法人 静岡県中小企業診断士協会

事業報告

2023年度（令和5年度）事業報告

1. 2023年度の事業・活動の総括と対処すべき課題

1. 1 事業・活動の総括

新型コロナ感染は2023年5月から第5類に移行されました。それ以降、日本経済も徐々に回復傾向にありますが、コロナ前までには達していません。

また、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が大きく影を落としており、いまだに戦争（侵攻）が終結していない状態です。

少しでも経済を回すために、国や地方自治体がいろいろな施策を講じてきました。

静岡県内をみると、西部は輸送機器のメーカーが多いため、半導体関連部品の入手難や原材料調達の調達難で減産を強いられている企業が多くありました。中部は飲食店やサービス業が多いのですが、コロナ環境の生活が習慣化され、宴会や外食が大幅に減少してしまいました。インバウンド客が増えるにしたがって、少しずつ活況が戻ってきつつあります。

東部は観光業で成り立っている事業者が多く、コロナの影響を大きく受けた業界です。旅館やホテルではコロナ対策も進んでいますが、コロナ前に比べ日本人の観光客は減少し、インバウンド客が頼りとなっています。

このような経済環境変化の中で、当県協会は下記のような事業を展開してきました。

(1) 静岡県との連携強化

BCP事業では自然災害やコロナ感染のリスクを最小限に抑えるために、BCP（事業継続計画）の個別相談会や訪問事業を実施しました。特に製造業者やサービスのみならず介護関係事業者も参加していただき、好評を得ました。

(2) 商工会議所との連携強化

浜松商工会議所及び静岡商工会議所と新型コロナウイルス感染症対応のための事業環境変化対応支援事業の一環で相談員の派遣を行いました。
大変好評で2024年4月時点でも継続しています。

(3) 一般社団法人中小企業診断協会（本部）との連携

本部事業の「プロボノ実証実験事業」では西部の事業者（アパレル販売）の販売促進改善に取り組んで提案を行い、事業者の好評を得ました。

また中部では製造業（輸送機器用ゴム部品）の生産性向上の支援を行い、事業者から喜ばれました。

(4) 人財育成

①事業再生を担うことができる人材育成

事業再生を担うことができる人財育成のために、トレーナー・トレーニー育成事業を通じて、2件の405事業及び1件の静岡県信用保証協会での経営改善計画の作成を実施しました。また、事業再生に必要となる「伴走支援」のスキルを学ぶために、伴走支援実務セミナーを企画・計画・実施しました。セミナーには、中小企業診断士協会の会員及び県内の認定支援機関から述べ24名に参加頂きました。

②スキルアップ研修

「スキルアップ研修」は、次のような研修を行いました。

- ・「中小企業組合の必要性と事業連携について」
- ・「経営者保証解除の最新動向と再チャレンジ支援」
- ・「経営コンサルタントのための Chat GPT 入門講座」

③研究会の活動

会員の研修及び研鑽に取り組んで、多数の参加を得ました。

2023年度は11の研究会（2研究会は休止）があり、有効開催回数は99回で各研究会と活発な活動を行っています。

(5) 会員向け情報発信

会員向けの各種情報提供としては、一斉メール配信、及びホームページへの掲載を随時実施しました。

(6) 各中小企業支援機関、信用保証協会、金融機関、静岡県、市等の連携

①各関連団体の会議やセミナーに出席し、各支援機関や金融機関や行政機関等の連携を図りました。

②静岡県生活衛生営業指導センターに相談員派遣事業を実施しました。

③今年度から、Beパレットふじで企業内診断士や新人プロコン向けに相談員をスタートさせました。事業者に対し、複数人で対応するため、相談員としてのテクニック等習得できたものと思われます。

1. 2 対処すべき課題

新型コロナが5類（2023年5月）に移行されたとは言え、完全に収束していないため仕事のやり方が大きく変化しました。対面活動も戻りつつありますが、時間の節約や交通費削減のためにオンライン（リモート）会議が、併存しているようになりました。

このような状況下で、2024年度の大規模な予算が成立しました。経済復活の支援策が多くの

業界で求められています。経営をサポートする中小企業診断士にとっては、各企業や事業体に下記の課題を解決する大きなチャンスとなりえます。

- ①政府の施策を効果的に活用した、企業や事業体への提案及び支援
- ②フォローアップも含めた伴走型の支援
- ③経済団体、金融機関、行政、その他中小企業支援者との緊密連携による支援
- ④会員の質的向上と会員の満足度向上
- ⑤中小企業診断士の認知度向上

1. 3 今後の方向性

2023年度は、新型コロナと共存の時代に突入しました。コロナが落ち着きインバウンド客もたくさん押し寄せています。

しかも観光地を巡る旅から、個人の趣味や特技に関する訪問客が増えてきています。つまり目的を持った観光です。すると地域に来てもらうには、それぞれの地域の特産物や観光資源である賑わいが求められます。最近、高校生や専門学校や大学生と地域のコラボし、新しい発想のアイデアがでてきています。従来にない商品やサービスも紹介されています。

我々、中小企業診断士にとっても、新しい風を読み、若い知恵とコラボして企業や地域との一体感で新しいモノを生み出すことが今後必要になってくると思われまます。

それには、各中小企業診断士は、たくさんの引き出しを持つことが求められる時代になってきたといえるでしょう。

新しい施策を提案し、指導やフォローアップしていくことが大切と思われまます。

このため、アンテナを高く張って、世界の動向を見据えながら臨機応変に対策を提案していく必要があります。つまり「業態変化」、「DX化」、「脱炭素化」、「働き方改革」、「新商品開発」、「売り方の変革」、「グローバル展開」等が求められています。

これらの急激な経営環境変化に中小企業や小規模事業者が取り残されないために我々中小企業診断士として、適切な助言やサポートが非常に大切になってきます。

このため、中小企業診断士として幅の広い専門性をもって、各企業、行政機関、関係団体機関等に情報を発信・提案していくことが要求されています。

つきましては、会員皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。

2. 2023年度（令和5年度）に実施した具体的事業

2.1 会員関係

(1) 2023年度会員異動（敬称略、50音順）

2022年度期末 225名

入会：伊藤寿英 大石幸輝 大槻頼克 紅林慶太 近藤成彦 笹間崇久 清水将友 高橋祐貴 西島佳祐 乗松寿 早川英寿 松井俊樹 水島大統 矢野陽介 和久田忠寿
(15名)

転入：なし

転出：1名

退会：11名（健康上、業務多忙などの理由）

休会：なし（海外勤務などの理由）

2023年度末 228名（他に休会者3名）

(2) 資格更新支援

2023年4月1日～2024年3月31日付け更新者の申請書類の受付を行い、申請書類の内容を確認し、中小企業庁に送付した（該当者44名、うち当協会経由で申請手続者32名）。

(3) 診断士賠償保険集団加入

81名集団加入した。

(4) コンプライアンス規程の周知徹底

コンプライアンスの周知徹底のため、HPでの掲載及び新規会員加入者に対しては入会時に宣言をしてもらうようにしている。

2.2 公益事業

(1) 一般社団法人中小企業診断協会（本部）との連携

1) 1人当たりの会費の内、100人までは10,000円、101人以上は15,000円を本部会費として納付した。

2) 2023年10月11日南関東ブロック会議（幹事会：神奈川県会）に鈴木会長及び下田副会長兼専務理事が出席、コロナ感染第5類移行での事業推進やインボイス導入等などについて、情報・意見交換を行った。

3) 診断士手帳、名刺の台紙を本部から買取り、手帳は全会員、台紙は新入会員に配布した。

(2) 研 修 事 業

1) 会員向けスキルアップ研修

① 第1回総会后研修

- ・開催日時 : 2023年5月27日(土) 総会后 16:00~17:00
- ・開催場所、方法 : ペガサート会議室での対面と Zoom
- ・講師・内容 : 静岡県中小企業団体中央会 経営支援部 主幹・チーフ 大長航氏
「中小企業組合の必要性と事業連携について」
- ・参加者 45名 (アンケート結果は大変満足が多かった)

② 第2回研修

- ・開催日時 : 2023年7月15日(土) 15:00~17:00
- ・開催場所、方法 : ペガサート会議室での対面と Zoom
- ・講師・内容 : 静岡県中小企業活性化協議会 統括責任者 佐藤嘉洋氏
「経営者保証解除の最新動向と再チャレンジ支援」
- ・参加者 28名 (アンケートではやや満足が多かった)

③ 第3回研修

- ・開催日時 : 2023年12月16日(土) 15:30~17:30
- ・開催場所、方法 : ペガサート会議室での対面と Zoom
- ・講師・内容 : (株)ラーニングライト 代表取締役 中村俊也氏
「経営コンサルタントのための Chat GPT 入門講座」
- ・参加者 62名 (参加者も多く、アンケートでは満足度が非常に高かった)

2) 実務ポイント研修

診断スキルアップと実務ポイント取得のため、診断実習として1コース(6日間)を県東部のサービス業で実施。

企業先および公的施設会議室にて、計6日にわたり診断・報告会を行った。

参加者は会員3名(非会員の参加はなかった)。

講師は会員プロコン診断士1名で実施した。

3) 企業内診断士研修会・交流会

- ・開催日時 2024年2月17日(土) 13:00~15:30
- ・開催方法 ビネスト7F 演習室3
- ・講演テーマ 「経営デザインシート活用講座」
- ・講師 中小企業基盤整備機構 道家睦明氏
- ・参加 22名 (久しぶりの対面講演でおおむね好評であった)

4) プロボノ活動

プロボノ実証実験事業として、診断協会本部の事業で企業内診断士に対する診断の機会を提供するために1グループに3日間の診断実習を実施。

①西部地区グループは、浜松商工会議所の紹介でアパレル業を受講者4名、講師2名にて実施した。事業費は本部から指導員の謝金及び事業評価委員会の経費、交通費等で計123,750円で本部から交付された。

②中部地区グループは、静岡商工会議所の紹介でゴム製造業を受講者4名、講師1名にて実施した。事業費は本部から指導員の謝金及び事業評価委員会の経費、交通費等で計110,660円が本部から交付された。

また上記の事業評価委員会は西部及び中部の案件を同時に開催した。

5) 研究会活動（詳細は後述の研究会別報告書参照）

中小企診断士の自己研鑽のため、研究・情報意見交換・交流その他実践活動等の場である研究会活動で、当協会の規程に従って実施したものに対して、所定の助成金を支給した。

- ・対象研究会：11研究会
- ・助成対象回数：99回

研究会名	代表者	2023年度有効開催回数
CtoC研究会	岩崎 正幸	0回
カーボンフリー研究会	鈴木 宣二	12回
マネジメント研究会	柴田 巧	12回
海外事業展開研究会	松島 寛	11回
企業内診断士経営研究会	鈴木 篤史	11回
経営革新研究会	小杉 俊雄	6回
経営戦略研究会	柴山 幸司	12回
再生支援研究会	小楠 貴宏	0回
補助金研究会	大石 育三	12回
商業まちづくり研究会	三宅 倫代	11回
農業経営研究会	大石 育三	12回
合計		99回

(3) 各中小企業支援組織・団体・金融機関等との連携や派遣

1) 静岡県

①静岡県の中小企業施策に対する支援策の普及に協会及び各会員の活動を通じて協力した。
なお、更新研修では、静岡県の経済産業部商工業局商工振興課長 鈴木一志氏及び経営支援課長 平山伸一氏による「新しい中小企業施策について」のご講義をいただき、施策の理解を深めた。

2) 静 岡 市

①ビネスト窓口相談員

静岡市中小企業支援センターが毎週月曜日から土曜日まで開設している経営相談コーナーに5名の会員を派遣している。1名の任期満了に伴う交代会員診断士の11名の応募があり、1名が採用された。

②静岡市女性活躍推進協議会委員、静岡市女性活躍ブランド認定審査委員

各会の委員として会議に出席し、事業の推進に協力した。

3) 公益財団法人静岡県産業振興財団

①経営相談コーナー

公益財団法人静岡県産業振興財団が毎週水曜日に開設している経営相談コーナー（静岡産業経済会館4F）へ13名の会員を派遣した。

②専門家派遣事業

会員に対し、専門家派遣事業への登録を促進し、事業の効果的遂行に協力した。

4) 静岡県中小企業活性化協議会

静岡県中小企業活性化協議会「第22回全体会議」（2024年3月15日）に出席し、事業内容を確認するとともに、静岡県中小企業診断士協会における再生支援事業の取組として、トレーナー・トレーニー制度の紹介を行った。

5) 静岡県事業引継ぎ支援センター

「静岡県事業承継ネットワーク」の構成員として「静岡県事業承継・引継ぎ支援センター」活動に協力した。過去県協会が推薦したエリアコーディネーターも活躍している。

6) 静岡県中小企業団体中央会

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の普及及び審査員として協力した。
また、2023年9月13日にしずぎんホールユーフォニアで開催された団体中央会の県大会に事務局長が参列した。

7) 静岡県商工会連合会

①小規模企業持続化補助金の普及及び審査員として協力した。

②小規模企業ビジネスパワーアップ支援事業等、会員に対し専門家としての登録を促進し、事業の効果的遂行に協力した。

③各商工会ではBCP個別相談会の会場として、協力いただいた。

8) 金 融 機 関

信金等主催のビジネス・マッチングフェア（経営相談コーナー設置）が、静岡市のツインメッセ静岡で2023年9月8日に開催され、3名の相談員を派遣した。
当協会独自の相談ブースにて、当協会のPR・情報交換などを行った。

9) 静岡県専門事業者団体連絡協議会

静岡県専門事業者団体連絡協議会は構成団体間（中小企業診断士、行政書士、宅地建物取引士、土地家屋調査士、社会保険労務士）の密接な連携により、中小企業を支援することを通じ、地域社会の発展並びに公共福祉の増進に貢献し、相互の発展と親睦を図ることを目的として、2023年7月14日（木）に協議会が開催された。

また、2023年11月25日（土）に「くらしの無料相談会」が開催され、会員3名の相談員が対応したが、相談はなかった。

10) 公益財団法人静岡県農業振興社

連携協定を締結している農業振興公社には、会員診断士50数名が登録されている。

11) 弁理士会との情報交換会

2023年7月21日の日本弁理士会 東海会(会長 村瀬裕昭氏ら15名他)との情報交換会に参加し、中小企業診断士業務をPRした。県協会から4名参加し、意見を述べた。

(4) 広 報 事 業

1) 広報誌の発行

「診断士広報しずおか217号」を2023年8月25日発行した。2023年度の定期総会の開催内容や2023年度の全役員及び体制の紹介及び新入会員紹介(8名)を掲載した。

また、「診断士広報しずおか218号」を2024年4月発行として、総会時に配布した。

2) ホームページの管理、充実

当協会について広報すべき内容（トピックス）を随時更新した。協会活動の報告、協会内研究会の開催告知と開催報告を掲載した。入会案内のページや更新研修のネット予約方法の解説なども親切で検索しやすい案内や内容になるように見直した。また、会員向けページの協会規定を見やすくするように全面的に見直した。

3) 県協会パンフレットの活用

外部との接触の際のPRツールとして活用した。また入会希望者にも送付し、当協会の概要を知っていただくツールとした。

(5) 中小企業診断士の日

1952年11月4日に中小企業診断士の前身となる中小企業診断員制度が発足したことを記念して11月4日は中小企業診断士の日とされている。

今回は、静岡県中小企業診断士の日として2023年11月9日（木）に中小企業診断士フェスタ2023をビネスト小会議で行った。

1つ目のテーマは、静岡県立大学経営情報学部 教授 落合康裕氏による「伴走型事業

承継と中小企業診断士の役割」である。

2つ目のテーマは、フジ物産株式会社 代表取締役社長 山崎伊佐子氏の「男だから、女だからではなく、自分だからの経営」についてであった。

これらのテーマについて、活発な質疑応答や意見交換があった。

(6) 支援事業

1) Be パレットふじ（富士市地域産業支援センター）

Be パレットふじでは、富士市の職員や各団体の協力を得て相談事業を開催している。当県協会も東部地区において、企業内診断士及び新人プロコンのために相談員の場を提供するため、参画した。

2023年9月から2024年3月までの期間、毎月第3週の金曜日を特設相談日としてBe パレットふじに中小企業診断士を派遣した。

相談者の多くは、非常に参考になったという感想が多かった。

2. 3 理論政策更新研修

静岡会場にて2回、浜松会場にて1回、合計3回開催した。新型コロナウイルス感染防止対策を行い各会場の定員を150名とした。

■テーマ、講師は全回共通

- ・テーマ1：新しい中小企業施策について

講師 静岡県経済産業部経営支援課長 平山伸一氏（第1回、第2回）

講師 静岡県経済産業部商工振興課長 鈴木一志氏（第3回）

- ・テーマ2：中小企業の事業承継支援

講師 ものづくり次代承継(株) 代表取締役・中小企業診断士 深見 剛彦氏

- ・テーマ3：中小企業の伴走支援

講師 磯経営支援事務所 代表 中小企業診断士 磯 裕氏

【第1回】9月2日（土）静岡労政会館 受講者：147名

【第2回】9月16日（土）静岡労政会館 受講者：118名

【第3回】9月30日（土）アクトシティ浜松コンgresセンター31会議室 受講者：144名

（合計参加人数 3回計 409名）

2. 4 収 益 事 業

(1) 経営革新等支援事業（認定支援機関）

経営革新支援機関として「経営改善計画」の策定等を行った。

1) 経営改善計画作成

①新規計画策定・・・2件（利用申請件数、トレーナー・トレーニー制度での実施）

②モニタリング・・・4社、延べ7回

(2) 専門家派遣

1) 静岡県信用保証協会

静岡県信用保証協会の経営改善計画策定支援事業に対して、トレーナー・トレーニー制度を活用した専門家派遣1件が実施された。

2) 信用金庫からの再構築補助金支援の診断士紹介

三島信金、しずおか焼津信金、静岡信金からの紹介依頼あり、希望会員を募集し、名簿を各信金に提示した。

(3) 自治体や関連団体からの受託事業

1) 静岡県

① B C P 緊急普及促進事業受託

■静岡県BCP策定セミナー2023

・静岡会場 12月11日(月)13:00~15:00

ビネスト 7F にてハイブリッド開催 参加者:45人

静岡県事業継続計画モデルプラン「第4版」のポイントをわかりやすく紹介した。

■BCP個別相談会の開催(主に商工会議所、商工会にて)

会場	実施回数	相談件数	相談員派遣 延べ人数
商工会議所	35回	62件	72名
商工会	36回	60件	
浜松イノベーションセンター	1回	1件	
合計	72件	123件	72人

2) 静岡市

①静岡市茶業振興協議会受託事業

2022年9月の台風15号の影響で工場が被害を受けたために、工場の復旧ができていないために事業は中止となった。

3) 静岡商工会議所

①「事業環境変化対応型支援事業」等受託

主に静岡商工会議所の会員に対してコロナ関連で補助金や助成金等の相談対応
相談員を公募した会員診断士に依頼

- ・場所：静岡商工会議所内
- ・期間：2023年4月1日～2024年1月31日 相談員：4名対応
その後も延長され、更に2024年度も事業継続となった。
- ・延長：2024年2月1日～2025年1月31日 相談員：2024年3月末までは3名対応

4) 浜松商工会議所

①「事業環境変化対応型支援事業」等受託

主に浜松商工会議所の会員に対してコロナ関連で補助金や助成金等の相談対応
相談員を公募した会員診断士等に依頼

- ・場所：浜松商工会議所内
- ・期間：2023年4月1日～2024年1月31日 相談員5名対応(途中から4名対応)
その後も延長され、更に2024年度も事業継続となった。
- ・延長：2024年2月1日～2025年1月31日 相談員：2024年3月末までは4名対応

5) 静岡県生活衛生営業指導センター

「生衛業経営支援緊急対策事業」を受託し、訪問相談を行う相談員を公募し地区別に登録
した(東部：4名、中部：9人、西部：6人)。派遣要請のあった事業者に対して延べ11
人派遣した。

- ・場所：各事業者への訪問及びメールによる経営相談
 - ① 訪問・・・・・・・・・・23件
 - ② メール対応・・・・・・2件
- ・期間：2023年5月1日～2023年12月31日

6) しずおか焼津信用金庫系(ものづくり管理者養成講座事務局)(2024年度にかけて)

ものづくり管理者養成講座の講師依頼を受託し、会員診断士4名に依頼

- ・場所：焼津 PORTERS にて
- ・期間：2023年10月19日～2024年9月19日まで

2. 5 その他(会議等)

(1) 総会

2023年5月27日に、集合とオンライン(Zoom)での総会を行った。

ハイブリッド出席55名、委任状提出104名、計159名(在籍者225名)。

なお、議事録も監事及び会長が署名し保存。

(2) 理事会（役員会）

理事、監事及び顧問で構成する理事会を次のとおり開催し、年間の事業の円滑な遂行に努めた。なお、議事録も監事及び会長が署名し保存。

① 7月15日②8月17日③10月14日④12月16日⑤2月10日⑥3月23日⑦4月13日

(3) 常任理事会

会長、副会長、常任理事及び顧問で構成する常任理事会を次のとおり開催し、当面の事業の円滑な遂行に努めた。またコンセンサスを得るため臨時の常任理事会も多く開催した。

① 8月10日②10月7日③12月9日④2月3日⑤3月16日⑥4月6日

(4) オンライン（Zoom）会議等の推進

コロナ感染拡大防止のため、上記会議や役員等打合せ、研修等は、オンライン（Zoom）またはハイブリッドで行うことを促進した。この結果、役員関連の交通費が削減された。

(5) 協会事務局

協会事務局は、年末年始・祝日等を除く平日の13時から16時頃の間受付対応を行った。2023年4月1日からは2023年7月27日までは、交替で役員が担当するようにした。極力、事務局の対応ができるように2023年7月28日から、平日は女性職員に半日（午後）お願いするようになった。

C to C 研究会 令和 5 年度 年間実施報告書

2024年 2月 17日

【研究会名】 C to C 研究会				
【研究テーマ】				
1. コーチング及びファシリテーションの基本を習得し、スキルアップを図る。				
2. 企業にて実地研修等を開催する（1～2社）。				
【今期の活動期間】				
2023年4月1日 ～ 2024年3月31日				
【今期の活動テーマ】				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会合場所
1	5月20日	実地研修（華月苑）打ち合わせ	小澤診断士、角本診断士、（西野、栗田）	B-nest、Zoom
2	5月29日	実地研修（華月苑）	角本診断士、（西野、栗田）	華月苑
3	6月10日	実地研修（華月苑）振り返り	小澤診断士、角本診断士、岩崎、（西野）	Zoom
4	7月8日	活動内容打ち合わせ	小澤診断士、岩崎、（西野）	Zoom
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
【代表者】 岩崎 正幸				
連絡先住所 〒418-0035 静岡県富士宮市星山85-438				
TEL (090) 1282 - 8169 FAX () -				
E-Mail masayuki.iwasaki@nifty.com				

届出者名：岩崎 正幸

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

カーボンフリー研究会 令和5年度 年間実施報告書

2023年 3月 9日

【研究会名】カーボンフリー研究会				
【研究テーマ】				
脱炭素化要求に応えられるコンサルタントとなることで、				
静岡県内の企業と共に脱炭素化社会の実現を目指す。				
【今期の活動期間】				
2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日				
【今期の活動テーマ】				
脱炭素化をすでに推進している企業の先端事例を研究していき、				
脱炭素化を推進したい企業と連携して計画を策定していく。				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月25日	2023年度活動計画	宮野正克・増井周司・森下直計・鈴木宣二・大橋昌弘	Zoomオンライン
2	5月14日	静岡県における脱炭素推進企業の事例紹介	竹内康博・鈴木宣二・大橋昌弘	Zoomオンライン
3	6月25日	原子力発電の将来と浜岡原子力館見学	竹内康博・増井周司・森下直計・鈴木宣二・大橋昌弘	浜岡原子力館
4	7月11日	令和5年度 静岡県企業脱炭素化推進フォーラム～セミナー	竹内康博・増井周司・大橋昌弘	グランヒルズ静岡
5	8月28日	脱炭素に資する省エネ	竹内康博・伊藤 直樹・河合良樹・鈴木宣二・大橋昌弘	静岡県産業経済会館
6	10月2日	省エネ取り組みの中長期的推進	竹内康博・伊藤 直樹・鈴木宣二・大橋昌弘	静岡県産業経済会館
7	10月13日	省エネ診断に向けて	竹内康博・森下直計・矢野陽介・伊藤 直樹・水島大統・鈴木宣二・大橋昌弘	Zoomオンライン
8	11月24日	ライフサイクルアセスメント	竹内康博・伊藤 直樹・大橋昌弘	静岡県産業経済会館
9	12月10日	ライフサイクルアセスメントの深掘り	竹内康博・森下直計・伊藤 直樹・矢野陽介・水島大統・鈴木宣二・大橋昌弘	Zoomオンライン
10	1月26日	省エネ診断事業について	竹内康博・森下直計・伊藤 直樹・矢野陽介・鈴木宣二・大橋昌弘	Zoomオンライン
11	2月16日	社におけるカーボンニュートラルの現状	森下直計・竹内康博・伊藤 直樹・水島大統・矢野陽介・乗松 寿・大橋昌弘	Zoomオンライン
12	3月14日	静岡県企業脱炭素化推進フォーラム	竹内康博・乗松 寿・大橋昌弘	グランヒルズ静岡
【代表者】 鈴木宣二				
連絡先住所		〒430-0924 静岡県浜松市中区龍禅寺町800-2		
TEL (053) 452 - 6882		FAX (053) 452 - 6862		
E-Mail		senjisuzuki@khc.biglobe.ne.jp		

届出者名：大橋昌弘

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。


当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

マネジメント研究会静岡 令和5年度 年間実施報告書

令和6年3月19日

【研究会名】 マネジメント研究会静岡				
【研究テーマ】				
メンバーのスキルアップおよびメンバー相互の交流の場の提供				
【今期の活動期間】				
令和5年4月1日～令和6年3月31日				
【今期の活動テーマ】				
メンバーの専門分野や研究テーマを発表・神奈川県支部の研究会「平八会」との交流会				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会合場所
1	4月25日(火)	NLP入門	○鈴木篤史・秋山一賀・石井洋之・石川雅三 ・伊藤直樹・村井裕人・(加藤俊文)・柴田巧(8名)	WEBミーティング
2	5月22日(月)	食品工場におけるユーティリティ (空気、水、エネルギー)	○柴田巧・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・ ・伊藤直樹・村井裕人・(加藤俊文)(7名)	WEBミーティング
3	6月29日(木)	関東大震災から学ぶ南海トラフ地 震からの復興への提言	○石井洋之・秋山一賀・石川雅三・伊藤直樹 ・堀江良則・村井裕人・森利彦・柴田巧(8名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
4	7月27日(木)	DX時代のプログラミング事情につ いて	○秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹 ・堀江良則・森利彦・(加藤俊文)・柴田巧(8名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
5	8月29日(火)	インボイスの問題点	○森利彦・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹・加藤雅史 ・辻本元彦・堀江良則・村井裕人・(加藤俊文)・柴田巧(11名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
6	9月27日(水)	・マネジメント研究会静岡 総会(会計報 告等) ・メンバー各自の近況報告、フリーデ ィスカッション	・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹・辻本元彦 ・堀江良則・村井裕人・森利彦・柴田巧(9名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
7	10月12日(木)	品質問題の解決手順	○伊藤直樹・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・高橋祐貴(初) ・堀江良則・村井裕人・森利彦・柴田巧(9名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
8	11月17日(金)	心理的安全性を検討する	○村井裕人・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹 ・堀江良則・森利彦・(加藤俊文)・柴田巧(9名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
9	12月27日(水)	通信事業業界の動向	○石川雅三・秋山一賀・石井洋之・伊藤直樹・加藤雅史 ・堀江良則・村井裕人・森利彦・(加藤俊文)・柴田巧(10名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
10	1月31日(水)	最近の食中毒事例からマネジメ ントシステムを考える	○柴田巧・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹・鈴木篤史 ・高橋祐貴・辻本元彦・堀江良則・村井裕人・森利彦(11名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
11	2月20日(火)	人生後半からの働き方	○(加藤俊文)・秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹 ・高橋祐貴・堀江良則・村井裕人・柴田巧(9名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
12	3月19日(火)	能登半島地震について考える	○石井洋之・秋山一賀・石川雅三・伊藤直樹・加藤雅史・高橋祐貴 ・辻本元彦・堀江良則・村井裕人・森利彦・(加藤俊文)・柴田巧(12名)	ビネスト6F 産学 ミーティングルーム +WEB
【代表者】 氏 名 柴田 巧				
連絡先住所 〒427-0107 静岡県島田市船木2337-1				
TEL 0547-32-9281 FAX 0547-32-9281				
E-Mail takumi.shibata@nifty.com				

届出者名：柴田 巧 委員長承認印：  会長承認印： 

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

海外事業展開研究会 令和5年度 年間実施報告書

2024年 3月17日

【研究会名】 海外事業展開研究会				
【研究テーマ】				
海外事業展開に関わる支援方法の研究				
【今期の活動期間】				
2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月31日				
【今期の活動テーマ】				
海外事業展開に関わる支援方法の研究				
会員の専門知識等の相互共有				
【今期の活動成果】（会合開催等）				
回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月15日	コロナパンデミックの影響下に於ける卸売業の事業承継	小川、若林、三宅、島上、松島	B-nest 6階
2	5月20日	輸出ビジネスのポイント～事例を交えた輸出実務全体の解説～	小川、若林、三宅、早川、松島	B-nest 6階
3	6月17日	中小企業組合への支援について～具体的な支援の事例～	小川、早川、松島	B-nest 6階
4	7月15日	中小企業診断士活動の現状と今後の目標	小川、若林、早川、島上、松島	B-nest 6階
5	9月9日	卸売業 事業承継後の伴走支援	小川、若林、三宅、早川、島上、松島	B-nest 6階
6	10月21日	YouTube広告活用事例 経営分析結果に基づくサイトリニューアル事例	小川、三宅、島上、松島	B-nest 6階
7	11月18日	ドン・キホーテ海外への進出 輸入規制調査方法 ～加工食品事例～	小川、若林、三宅、早川、島上、松島	B-nest 6階
8	12月16日	飲食店における事業再構築補助金活用事例	小川、若林、三宅、早川、島上、松島	B-nest 6階
9	1月20日	海外販路開拓に向けた食品ブランディング強化事例 ～認証取得、ストーリーづくり～	小川、若林、三宅、島上、松島	B-nest 6階
10	2月17日	JETRO「海外進出日系企業実態調査」より 海外進出動向の分析（1）	小川、若林、早川、乗松、松島	B-nest 6階
11	3月16日	研究会の今後の取り組みについて	小川、三宅、早川、島上、乗松、松島	B-nest 6階
【代表者】 松島 寛				
連絡先住所 〒421-1215 静岡県静岡市葵区羽鳥二丁目4番23号				
TEL (090) 1742 - 2616 FAX (054) 278 - 2616				
E-Mail matsushima@shizuoka-kaigai.com				

届出者名：松島 寛

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

企業内診断士経営研究会 令和5年度 年間実施報告書

令和6年3月6日

【研究会名】企業内診断士経営研究会				
【研究テーマ】				
企業内診断士として本業で得た能力と有資格者として学んだ知識を利活用して 県内中業企業の経営力向上に寄与することを実践する。				
【今期の活動期間】				
令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日				
【今期の活動テーマ】				
①診断事例の研究、経営力向上支援施策の学習と1社以上の経営診断、経営力向上提案の実践				
②メンバーの所属業界の業界研究発表を通じてスキル、知識の習得を目指す				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月22日	1. 年度計画の周知 2. プロボノ案件への参加意向 3. 勉強会発表者の募集、工場見学、補助金勉強会の検討	鈴木篤史、大石聡司、荷宮章吾、石川雅三、山下友樹、森下直計、藤村孝暢、（大谷仁郎）、桜井宏昌、（鈴木佑哉）、増田顧問（オブザーバー）	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
2	5月21日	1. 業界発表：アルミニウムの押出成形業界（大石） 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、大石聡司、橋本崇、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、高井宏治、（大谷仁郎）、増田顧問（オブザーバー）	ZOOM
3	6月24日	1. 業界発表：廃棄物処理業界（鈴木篤） 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、大石聡司、橋本崇、荷宮章吾、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、山下友樹、森下直計、（鈴木佑哉）、顧問（オブザーバー）	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
4	7月22日	1. 連絡、周知事項 2. プロボノ案件の状況報告：東部案件、西部案件の報告 3. 見学者の自己紹介	鈴木篤史、橋本崇、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、荷宮章吾、森下直計、（大谷仁郎）、（鈴木佑哉）、（石塚修司）、増田顧問（オブザーバー）	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
5	8月26日	1. Beばれっとふじ 経営相談対応状況報告 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、大石聡司、橋本崇、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、高井宏治、森下直計、山下友樹	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
6	9月24日	1. 業界発表：電気通信業界の状況（石川） 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、橋本崇、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、高井宏治、森下直計、鈴木佑哉、小林幸宏、荷宮章吾、岡村拓哉、高橋祐貴	オンライン
7	10月28日	1. Beバレットふじの経営相談についての意見交換 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、大石聡司、荷宮章吾、橋本崇、橋本由加里、高井宏治、森下直計、山下友樹、新井陽子、藤村孝暢、鈴木佑哉、増田顧問（オブザーバー）	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
8	11月25日	1. 企業内診断士研修会についての意見交換 2. プロボノ案件の状況報告 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、荷宮章吾、橋本崇、橋本由加里、石川雅三、小林幸宏、水島大統（見学）、増田顧問（オブザーバー）	B-nset 6F ミーティングルーム、オンライン併用
9	12月23日	1. 企業内診断士研修会について情報共有 2. プロボノ案件の状況報告及び品質評価会の日程通知 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、荷宮章吾、橋本由加里、石川雅三、新井陽子、山下友樹、藤村孝暢、増田顧問（オブザーバー）	オンライン
10	1月27日	1. 2月実施予定企業内診断士研修・交流会の検討 2. プロボノ案件の状況報告、来期に向けた意見調整 3. 連絡事項、依頼事項	鈴木篤史、荷宮章吾、橋本由加里、石川雅三、新井陽子、山下友樹、藤村孝暢、増田顧問（オブザーバー）	B-nset 7F 演習室
11	3月30日	1. 来年度計画についての打ち合わせ	鈴木篤史、大石聡司、荷宮章吾、橋本由加里、橋本崇、石川雅三、山下友樹、藤村孝暢、増田顧問（オブザーバー）	オンライン
12				
【代表者】鈴木 篤史				
連絡先住所 〒 432-8047 浜松市中央区神田町360-19				
TEL (090) 6179-4369 FAX () -				
E-Mail attsu1006@gmail.com				
届出者名：鈴木 篤史 委員長承認印：  会長承認印： 				

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

経営革新研究会 令和5年度年間実施報告書

令和6年3月1日

【研究会名】 経営革新研究会				
【研究テーマ】				
1 活動方針:経営革新に役立つ専門分野を研究・開発、外部発信及び、支援活動の推進				
2 専門分野:「経営戦略」「経営改善」「働き方改革」「生産管理」「ISO」及び「販売管理」				
【今期の活動期間】				
令和5年4月1日～6年3月31日:例会・第2日曜日(コロナ感染拡大のため、オンライン開催)				
【今期の活動テーマ】				
①メインテーマ:①コロナ禍のなか、診断士活動のオンライン化は、どこまでできるか。②アフターコロナで、地域中小企業がどう変わるか。②サブテーマ:会員自主テーマとする。				
【今期の活動成果】(会合開催等) ※会員外は氏名を()とする				
回	月日	内 容	参加者名	会合場所
1	6月25日	DX化, AI化について (いま、話題のChat GPT)	小杉、小山、辻本、流王、(磯部)	zoomオンライン
2	7月30日	Chat GPTの各界の動き、始め方及び、体験事例	小山、小杉、辻本、藤田、流王、(南陽) (磯部)(桜井)	同上
3	8月27日	Chat GPTの診断士業務への活用・試行例と対話(操作)手順の演習	小山、小杉、辻本、藤田、流王、(南陽) (磯部)	同上
4	10月8日	診断士業務、用途別のChatGPTの利用モデル案と簡易な演習事例	小山、小杉、辻本、流王、(磯部)(桜井)	同上
5	11月26日	働き方改革・2024年問題	小杉、藤田、流王、(磯部)(桜井)	同上
6	2月18日	BCPからBCM(事業継続マネジメント)へ (以下、余白)	小山、宮野、小杉、辻本、流王、(南陽)	同上
【代表者】氏名 小杉 俊雄				
連絡先住所 〒433-8127 浜松市中央区和合北2-6-54				
TEL 053-473-7668 FAX 053-488-8491				
E- t-kosugi573@shirt.ocn.ne.jp				
届出者名:小杉俊雄 委員長承認印:  会長承認印: 				
<p>※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。</p> <p>当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の口にチェックを入れてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 協会会員が5名以上である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 協会会員の割合が概ね7割以上である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 代表者は協会会員である。</p>				

経営戦略研究会 令和5年度 年間実施報告書

令和6年 3月 12日

【研究会名】経営戦略研究会				
【研究テーマ】 中小企業の経営戦略を研究し、地域経済の発展に寄与することを目的とする。				
【今期の活動期間】				
令和5年4月1日 ～ 令和6年3月 31日				
【今期の活動テーマ】				
1. 会員個人の発表による戦略共有 2. 会員の事例による戦略考察				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月16日	副業と課税の動向について 経営戦略研究会 令和5年度実施内容について	柴山、小森、妹川、名倉、門奈、大石、石川、林、藤村、（山脇）	Zoom開催
2	5月21日	ChatGPTと画像生成技術がもたらすビジネス革新「中小企業診断士のための未来予測」	柴山、小森、妹川、名倉、門奈、大石、石川、林、伊藤、後藤、（山脇）	Zoom開催
3	6月18日	マネジメントゲーム実施	柴山、門奈、大石、石川、河合、辻本、小口、（長野）	柴山幸司税理士事務所 + Zoom開催
4	7月16日	事業再構築補助金の過去データ分析結果から考える 事業計画作成のポイント	柴山、門奈、大石、石川、名倉、清水、大川、小森、伊藤、林、渡邊、（山脇）	Zoom開催
5	8月20日	インボイス制度（令和5年10月からの導入に向けて）	柴山、門奈、石川、名倉、清水、伊藤、林、渡邊、辻本、鈴木	Zoom開催
6	9月17日	ローカルビジネスに対するWebマーケティング支援の基礎	柴山、門奈、名倉、伊藤、林、渡邊、鈴木、小森、妹川、高橋、大石、小口、岡林	Zoom開催
7	10月15日	なぜなぜ分析の実践	石川、柴山、門奈、名倉、林、小森、清水	Zoom開催
8	11月19日	DX人材戦略のポイント：中小企業診断士がリードする DX人材リスティングと生成AI活用	名倉、小森、清水、鈴木、石川、柴山、門奈	Zoom開催
9	12月17日	バックオフィス効率化と電子帳簿保存法への対応	石川、門奈、林、妹川、清水、小口、岡村、藤村、柴山	Zoom開催
10	1月21日	介護施設・福祉施設BCP	門奈、小森、石川、林、名倉、清水、小口、藤村、柴山、紅林、乗松	Zoom開催
11	2月18日	令和6年実施の補助金について	清水、門奈、小森、石川、林、小口、藤村、柴山、紅林、乗松、伊藤	Zoom開催
12	3月17日	DXジャーニーマップを活用した中小企業のDX推進	名倉、柴山、紅林、乗松、妹川、柴山、小口、藤村、（加藤）	Zoom開催
【代表者】 氏 名 柴山幸司				
連絡先住所 〒434-0042 静岡県浜松市浜名区小松4346-7				
TEL (053) 589 - 3223 FAX (053) 443 - 9342				
E-Mail hbsconsul@gmail.com				

届出者名：柴山幸司

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

再生支援研究会 令和5年度 年間実施報告書

2024年3月8日

【研究会名】 再生支援 研究会				
【研究テーマ】 中小企業の経営に役立つ改善計画、事業再生計画の作成及びその実行の伴走者として、中小企業診断士に必要なスキル・手法について研究する				
【今期の活動期間】 <p style="text-align: center;">2023年4月1日 ～ 2024年3月31日</p>				
【今期の活動テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会を通じた、全業界共通の標準再生支援フローの構築 ・ 業界別の経営診断、事業DDツールの開発 ・ 企業再生の経験豊富な講師を呼んでの勉強会 				
【今期の活動成果】（会合開催等） ※会員外は氏名を（ ）とする				
回	月日	内 容	参加者名	会合場所
1				
2				
3		休会中		
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
【代表者】 氏 名 小楠 貴宏				
連絡先住所 〒 433 - 8125				
		TEL (090) 9316-8763	FAX (053) 489 - 3604	
E-Mail t_ogu@yb3. so-net. ne. jp				

届出者名：小楠 貴宏

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の口にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

補助金研究会 令和5年度 年間実施報告書

2024年3月1日

【研究会名】 補助金研究会

【研究テーマ】

中小企業の振興施策に沿って経済産業省・中小企業庁・地域合成機関等から打ち出される各種補助金について、その内容研究とそれらの申請支援実務に関する研究

【今期の活動期間】

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

【今期の活動テーマ】

事業再構築補助金に関する事例発表とそれらに関する中小企業振興のための各種補助金についての研究

【今期の活動成果】（会合開催等）

※会員外は氏名を（ ）とする

回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月26日	4月定例会：講演・情報交換	清水進矢、大石育三、新井陽子、村井裕人、門奈一徳、寺嶋 邦浩、石井洋之	Zoomによる参加
2	5月24日	5月定例会：講演・情報交換	豊田和之、新井陽子、村井裕人、門奈一徳、大石育三、仲田 剛、小口章治、小山啟二、竹内康博、石井洋之	Zoomによる参加
3	6月28日	6月定例会：講演・情報交換	豊田和之、新井陽子、村井裕人、門奈一徳、大石育三、仲田 剛、小口章治、小山啟二、竹内康博、石井洋之	Zoomによる参加
4	7月26日	7月定例会：講演・情報交換	豊田和之、新井陽子、大石育三、小口章治、小山啟二、石井洋之	Zoomによる参加
5	8月23日	8月定例会：講演・情報交換	豊田和之、石井洋之、竹内康博、西田隆久、門奈一徳、仲田 剛	Zoomによる参加
6	9月27日	9月定例会：講演・情報交換	豊田和之、新井陽子、石井洋之、竹内康博、西畑隆久、大石育三、小山啟二、近藤成彦	Zoomによる参加
7	10月25日	10月定例会：講演・情報交換	(磯 裕)、豊田和之、竹内康博、大石育三、小山啟二、八木宏昌、門奈一徳、石井洋之	Zoomによる参加
8	11月22日	11月定例会：講演・情報交換	豊田和之、竹内康博、大石育三、小口章治、石井洋之	Zoomによる参加
9	12月27日	12月定例会：講演・情報交換	竹内康博、紅林慶太、小口章治、新井陽子、豊田和之、大石育三、八木宏昌、	Zoomによる参加
10	1月24日	1月定例会：講演・情報交換	竹内康博、紅林慶太、小口章治、新井陽子、豊田和之、大石育三、八木宏昌、門奈一徳、石井洋之	Zoomによる参加
11	2月28日	2月定例会：講演・情報交換	竹内康博、紅林慶太、小口章治、新井陽子、豊田和之、大石育三、八木宏昌、門奈一徳、石井洋之	Zoomによる参加
12	3月27日	3月定例会：講演・情報交換	竹内康博、紅林慶太、小口章治、新井陽子、豊田和之、大石育三、八木宏昌、門奈一徳、石井洋之（予定）	Zoomによる参加

【代表者】 氏 名 大石育三

連絡先住所 〒416-0946

富士市五貫島639-2

TEL (0545) 64-0147

FAX (0545) 63-8994

E-Mail oishibusiness@ozzio.jp

届出者名： 石井洋之

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
 【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。
 当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。
 協会会員が5名以上である。
 協会会員の割合が概ね7割以上である。
 代表者は協会会員である。

商業まちづくり研究会 令和5年度 年間実施報告書

令和 6年 3月 9日

【研究会名】 商業まちづくり研究会（まち研）				
【研究テーマ】 1. 地域経済やまちなかの活性化、文化やコミュニティのあり方を研究する。 2. 人口減・収縮・少子高齢社会における個店経営や地域・商店街組織等の存続策等を考え、中小企業診断士としての対応スキルの研鑽を図る。				
【今期の活動期間】 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日				
【今期の活動テーマ】 1. アフターコロナにおける上記研究テーマを、具体的に深耕する。 2. 厳しい経営環境にある事業所・商店街・まちなか支援方法の研究、参考となる商店街の視察と報告書作成、各研究会員から報告・発表を実施、議論を行った。				
【今期の活動成果】（会合開催等）				
回	月日	内 容	参加者名	会場場所
1	4月8日	1.令和5年度 活動計画検討 2.会計報告 3.各地のまち情報交換	三宅、小林、田代、(内山) 計4名	B-nestミーティングルーム zoom併設
2	5月13日	6月(人宿町)視察準備会など	三宅、高橋、妹川、川上、田代 計5名	B-nestミーティングルーム zoom併設
3	6月17日	人宿町(2丁目)人情通り 視察 〈(株)創造舎様からお話を伺う〉	甲島、三宅、高橋、大橋、川上、田代 (内山)(村松) 計8名	静岡市葵区人宿町及び ナナクレマホール
4	7月15日	人宿町人情通り 視察報告会1	三宅、高橋、竹澤、田代、(内山) 計5名	B-nestミーティングルーム zoom併設
5	8月19日	人宿町人情通り 視察報告会2	三宅、大橋、田代、藤村、(内山) 計5名	B-nestミーティングルーム zoom併設
6	9月16日	1.事業再構築補助金について(久保田) 2.コロナ禍での飲食店経営(事業主より)	久保田、三宅、大橋、田代、藤村 (内山)(村松) 計7名	B-nestミーティングルーム 清水区 飲食店
7	10月14日	1.まちづくりシンポジウム報告 2.伊東市電線地中化について(大橋)	三宅、大橋、川上、田代、藤村 (内山)(堀田) 計7名	B-nestミーティングルーム zoom併設
8	11月11日	1.ファクハク(オープンファクトリー)について 2.各地域のまちづくりについて	三宅、高橋、大橋、藤村、(内山) 計5名	B-nestミーティングルーム zoom併設
9	12月9日	1.事業再構築補助金について(川上) 2.各地域のまちづくりについて	三宅、大橋、川上、田代、藤村 (内山)(堀田) 計7名	B-nestミーティングルーム zoom併設
10	令和6年 1月13日	1.一条タウン西伊庭について(藤村) 2.静岡駅南口再開発について(田代)	三宅、高橋、大橋、竹澤、田代、藤村 (内山)(堀田) 計7名	B-nestミーティングルーム zoom併設
11	3月9日	1.R5活動報告、R6活動計画 2.R6視察準備 他	三宅、大橋、田代、藤村 (内山)(堀田) 計6名	B-nestミーティングルーム zoom併設
【代表者】 氏 名 三宅 倫代				
連絡先住所 〒420- 静岡県静岡市葵区				
TEL (054) 246-8856		FAX 同 左		
E-Mail subaru_m@mua.biglobe.ne.jp				
届出者名：三宅 倫代		委員長承認印： 	会長承認印： 	

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

農業経営研究会 令和5年度 年間実施報告書

2024年3月31日

【研究会名】 農業経営研究会				
【研究テーマ】 農林漁業の研究を主目的とするが、6次産業化をはじめ高付加価値化、食料安全保障等への貢献を図るために必要となる生産、製造技術、経営、マーケティング、BCP、スマート農業等の幅広い分野にも着目する。				
【今期の活動期間】 令和5年4月1日 ～令和6年3月31日				
【今期の活動テーマ】 農業分野においてもコロナ禍における需要の減少を見極めつつ、ビジネスモデルを事業再構築する事例研究と農業BCP・の促進を活動テーマとする。				
【今期の活動成果】（会合開催等）				
回	月日	内 容	参加者名	会合場所
1	4月16日	東日本大震災からの復興の教訓～13年目の現状と南海トラフ地震への備え～石井洋之	植田善和・大石育三・鈴木悦治・本間稔・石井洋之・加藤琢麻・内藤文俊・酒井輝治・上村翔	アイミティ浜松&ZOOM
2	5月21日	「植物防疫法と緊急防除：アリモドキノゾウムシの事例」 加藤 琢麻	植田善和・大石育三・鈴木悦治・本間稔・加藤琢麻・酒井輝治・石井洋之・内藤文俊・大橋昌弘・海野英介・藤村孝暢・加藤 琢麻	アイミティ浜松&ZOOM
3	6月18日	「静岡県食と農の基本計画について」 内藤 文俊	植田善和・大石育三・鈴木悦治・本間稔・加藤琢麻・酒井輝治・石井洋之・内藤文俊・大橋昌弘・海野英介・上村 翔	アイミティ浜松&ZOOM
4	7月18日	「カーボンニュートラルと経済」 酒井 輝治	植田善和・大石育三・鈴木悦治・石井洋之・本間稔・加藤琢麻・酒井輝治・海野英介・上村 翔	アイミティ浜松&ZOOM
5	8月20日	アドリ株式会社視察 代表取締役 小河 麦人	植田善和・大石育三・鈴木悦治・本間稔・加藤琢麻・石井洋之	富士宮市現地集合
6	9月17日	アドリ株式会社の現状把握について 大石育三、（本間・石井・加藤・植田）	植田善和、大石育三、本間稔、鈴木悦治、加藤琢磨、上村翔、海野英介	アイミティ浜松&ZOOM
7	10月15日	土を知る楽しさ 関 裕二 先生	植田善和、鈴木悦治、石井洋之、加藤琢磨、酒井輝治、海野英介、大橋昌弘	アイミティ浜松&ZOOM
8	11月19日	土を知る楽しさ 関 裕二 先生	植田善和、鈴木悦治、石井洋之、加藤琢磨、内藤文俊、大石育三、本間稔	アイミティ浜松&ZOOM
9	12月17日	「スマート農業への展開と補助金活用について」 大石育三	鈴木悦治、石井洋之、加藤琢磨、酒井輝治、海野英介、大橋昌弘、内藤文俊、大石育三、本間稔	アイミティ浜松&ZOOM
10	1月21日	「地域ブランドのつくりかた」 清水進矢先生	鈴木悦治、石井洋之、加藤琢磨、酒井輝治、大橋昌弘、大石育三、本間稔	アイミティ浜松&ZOOM
11	2月25日	「伴奏支援先の成功事例の報告」 本間 稔 「農業振興公社の専門 家派遣の現状報告」石井 洋之	石井洋之、加藤琢磨、内藤文俊、本間稔、酒井輝治、大橋昌弘、大石育三	アイミティ浜松&ZOOM
12	3月24日	「太陽光パネルの下でのそば体験 報告」酒井 輝治	大石育三・鈴木悦治・石井洋之・本間稔・加藤琢麻・酒井輝治・海野英介	アイミティ浜松&ZOOM
【代表者】 氏 名 大石育三				
連絡先住所 〒416-0946 静岡県富士市五貫島639-2				
TEL (0545)-64-0147 FAX (0545) 63-8994				
E-Mail oishibusiness@ozzio.jp				
届出者名：大石育三		委員長承認印： 	会長承認印： 	

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。
当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。
協会会員が5名以上である。
協会会員の割合が概ね7割以上である。
代表者は協会会員である。

第1号議案

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会 令和4年度収支決算(正味財産増減計算書)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(金額単位:円)

	令和5年度決算額			令和5年度予算額			備考
	公益事業	収益事業	合計	公益事業	収益事業	合計	
(1)経常収益							
基本財産受取利息			0			0	
受取会費・入会金	10,479,050		10,479,050	10,190,000		10,190,000	年会費・入会金等
研修事業収入	324,410		324,410	570,000		570,000	実務ポイント研修・企業内診断士研修
認定支援機関収入		3,466,982	3,466,982		3,520,000	3,520,000	経営改善計画(405事業)等
専門家派遣収入		49,500	49,500			0	信用保証協会等
更新研修収入		2,658,600	2,658,600		2,835,000	2,835,000	更新研修受講料
その他受託事業収益		20,389,680	20,389,680		13,572,000	13,572,000	静岡県、浜松・静岡商議所相談、衛生センター しずおか焼津信金 等
雑収益受取利息	29	77	106			0	
その他雑収益	14,914		14,914			0	
経常収益 計	10,818,403	26,564,839	37,383,242	10,760,000	19,927,000	30,687,000	
(2)経常費用							
①事業費							
診断協会連合会費等	2,876,535		2,876,535	2,875,000		2,875,000	本部会費等
研修事業費	811,063		811,063	1,110,000		1,110,000	セミナー・実務ポイント研修・企業内診断士研修・ 研究会支援等
広報事業費	271,165		271,165	380,000		380,000	広報、HP
診断士の日イベント事業費	124,290		124,290	100,000		100,000	講師謝金等
認定支援機関事業費		3,018,984	3,018,984		3,168,000	3,168,000	経営改善計画(405)謝金等(トレーニー事業)
専門家派遣事業費		0	0			0	
更新研修事業費		2,156,112	2,156,112		2,535,000	2,535,000	更新研修事業費、残金本部返納
その他受託事業費		17,267,023	17,267,023		11,792,000	11,792,000	静岡県、浜松・静岡商議所相談、衛生センター しずおか焼津信金 等
県協会事業費	754,939		754,939	360,000		360,000	総会、理事会、各種会議開催・参加等、PR他
租税公課		720,800	720,800		750,000	750,000	消費税
事業費小計	4,837,992	23,162,919	28,000,911	4,825,000	18,245,000	23,070,000	
②管理費							(管理費の予算は合計のみ表示)
役員報酬	162,058	397,942	560,000			410,000	役員報酬規程による
給料手当	955,219	2,345,569	3,300,788			3,600,000	事務局業務給与、理事業務手当
法定福利費+福利厚生費	5,000	12,286	17,286			120,000	社会保険料・通勤費・慶弔費
交際費	0	0	0			0	
会議費	465	1,149	1,614			0	事務関係会議
旅費交通費	123,102	302,288	425,390			807,000	リモート進み減少傾向
通信費	184,248	452,432	636,680			402,000	電話代、プロバイダー代等
消耗品費	33,233	81,612	114,845			302,000	事務局使用消耗品等
水道光熱費	15,965	39,210	55,175			50,000	ペガサート電気代等
支払手数料	211,672	519,773	731,445			587,000	会計業務委託、振込・ネットバンキング振込手数料等
地代家賃	336,052	825,188	1,161,240			1,319,000	ペガサート3F賃貸料・共益費
リース料	44,049	108,171	152,220			136,000	コピー複合機等
保険料	10,856	26,664	37,520			37,000	損害賠償保険料・火災保険料
租税公課	4	11	15			50,000	
雑費	8,911	21,889	30,800			56,000	上記に該当しない諸経費、予備費
管理費小計	2,090,834	5,134,184	7,225,018			7,876,000	
経常費用 計	6,928,826	28,297,103	35,225,929			30,946,000	
当期経常増減額	3,889,577	△ 1,732,264	2,157,313			△ 259,000	
前期損益修正		△ 418,000	△ 418,000				
法人住民税		71,000	71,000			71,000	均等分
当期正味財産増減額	3,889,577	△ 2,221,264	1,668,313			△ 330,000	
一般正味財産期首残高			12,204,194			12,204,194	
一般正味財産期末残高			13,872,507			11,874,194	

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	36,361	34,399	1,962
預 金	(11,427,479)	(8,074,833)	(3,352,646)
当座預金	0	0	0
普通預金	11,353,049	8,074,833	3,278,216
定期預金	0	0	0
振替口座	74,430	0	74,430
貯蔵品	255,000	300,000	△ 45,000
未収金	5,192,550	6,499,740	△ 1,307,190
前払費用	16,320	22,360	△ 6,040
流動資産合計	16,927,710	14,931,332	1,996,378
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
差入敷金・保証金	553,400	553,400	0
什器備品	0	0	0
その他固定資産合計	553,400	553,400	0
固定資産合計	553,400	553,400	0
資産合計	17,481,110	15,484,732	1,996,378
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,906,550	2,423,720	△ 517,170
預り源泉税・所得税	613,720	785,818	△ 172,098
前受金	1,017,333		1,017,333
未払住民税	71,000	71,000	0
流動負債合計	3,608,603	3,280,538	328,065
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,608,603	3,280,538	328,065
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	(13,872,507)	(12,204,194)	(1,668,313)
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 指定正味財産	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	13,872,507	12,204,194	1,668,313
負債及び正味財産合計	17,481,110	15,484,732	1,996,378

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会

(単位 : 円)

摘 要	金 額
(資 産 の 部)	
I 流 動 資 産	16,927,710
①現 金 (手元有高)	36,361
②普通預金(静岡銀行本店)	6,237,972
③普通預金(静岡銀行本店)収益口座	4,867,793
④普通預金(しずおか焼津信用金庫)	247,284
⑤郵便振替会費口座	73,000
⑥郵便振替更新研修口座	1,430
⑦郵便振替更新保険口座	0
⑧貯 蔵 品 (診断士バッチ@3000円×85個)	255,000
⑨未 収 金 (県BCP受託、商工会議所相談員謝金等)	5,192,550
⑩前 払 費 用 (総会・理事会会場費)	16,320
II 固 定 資 産	553,400
⑪差入敷金・保証金 (事務所敷金)	553,400
資 産 合 計	17,481,110
(負 債 の 部)	
I 流 動 負 債	2,923,883
①未 払 費 用 (確定消費税・診断士報酬・役員報酬等)	1,906,550
②前 受 金 (405事業・年会費・入会金)	1,017,333
③預 り 金 (源泉所得税・所得税)	613,720
④未払住民税 (法人住民税)	71,000
負 債 合 計	3,608,603
差 引 正 味 資 産	13,872,507

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

資金の範囲について

資金の範囲には、流動資産、固定資産及び流動負債を含めている。
なお、当期末残高は、下記2の記載のとおりである。

消費税経理は税込み経理

2. 次期繰越収支差額の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高（単位：円）
現 金	36,361
普通預金（静岡銀行）	6,237,972
普通預金（静岡銀行）	4,867,793
〃（静岡焼津信金）	247,284
郵便振替会費口座	73,000
郵便振替更新研修口座	1,430
郵便振替更新保険口座	0
貯 蔵 品	255,000
未 収 金	5,192,550
前 払 費 用	16,320
敷金・差入保証金	553,400
以上 資産合計	17,481,110
未 払 費 用	1,906,550
前 受 金	1,017,333
預 り 金	613,720
未 払 住 民 税	71,000
以上 負債合計	3,608,603
次期繰越収支差額	13,872,507

上記の通りご報告いたします。

2024年4月13日

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会

会長 鈴木宣二

監査報告

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会定款第43条により、2023年度の会計帳簿、書類等を監査・照合したところ、正確かつ適正であることを認めます。

2024年4月13日

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会

監事 植松 誠



監事 久保田 光彦



第3号議案

2024年度（令和6年度）事業計画（案）

1. 基本方針及び重点事項

1-1 基本方針

令和5年度は、新型コロナウイルスの第5類の移行を受けて、各業界ともようやく落ち着きを取り戻しつつあります。最近では多くの国からインバウンドの客が多く来日されるようになりました。しかも観光先巡りや爆買いから変わって、体験型の観光や自分の趣味の商品を買い求めるように大きく変化してきています。今後、中小企業にとっても、需要を創造し、自らの商品を開発し、市場に打っていく姿勢が問われるようになってきました。

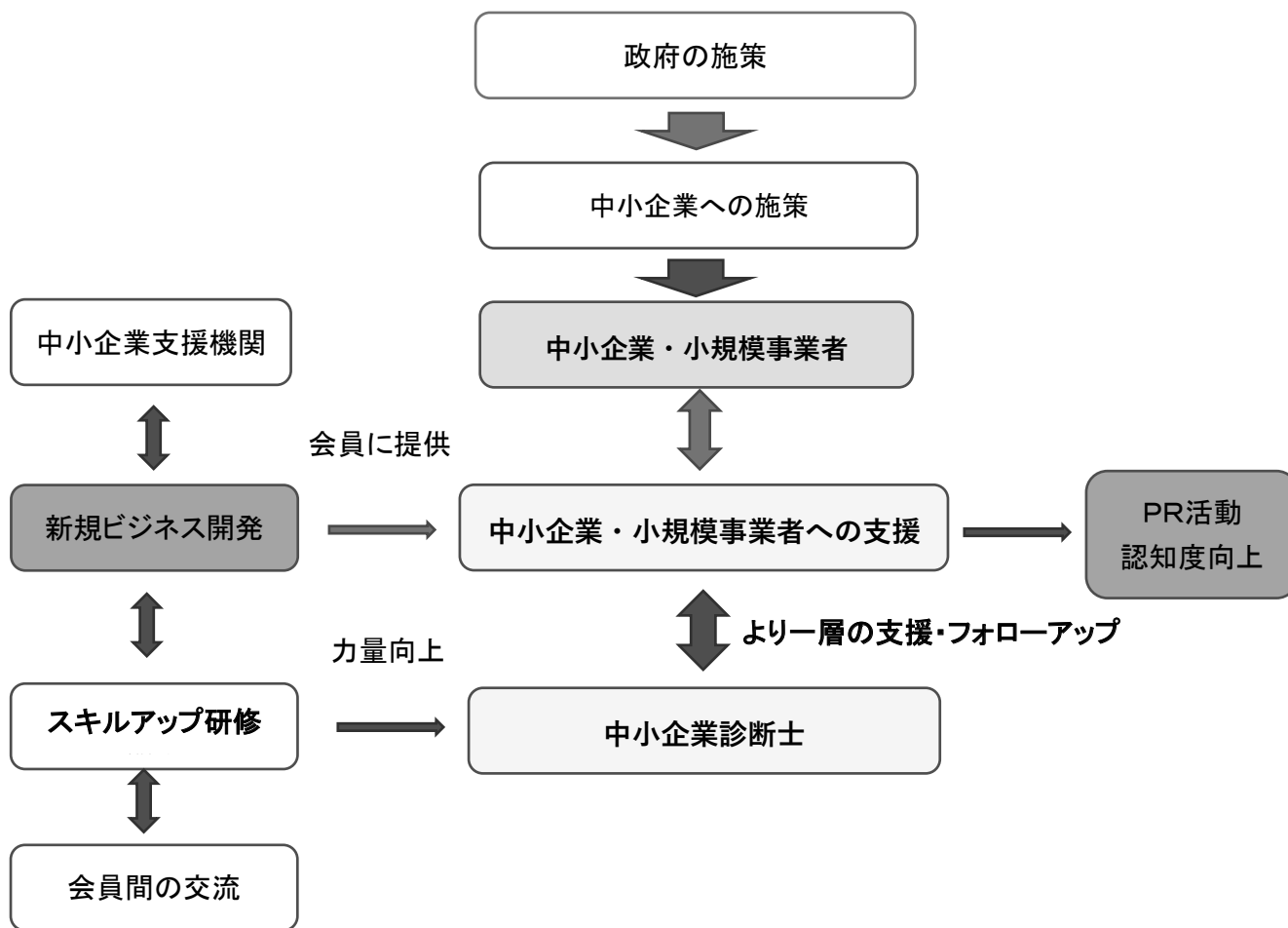
従前は、企業への投資対象として、売上や有形固定資産の大小で投資されていたのです。最近では無形固定資産つまり人的資本が求められるようになってきました。この指標がESG投資の評価です。ESGとは環境(Environment)や社会(Social)及びガバナンス(Governance)です。現在、ESG投資を行っている企業と、まったく人的資本に投資しない企業とでは大きな差がでてくると思われます。なぜなら有形固定資産は生産するための設備でたくさんモノを生産して売り上げで稼ぐのです。しかし需要変動の多い時代では社員の知恵(人的資本)で稼ぐ必要があるのです。環境や社会への配慮を行いつつ、新たな創造を生む事が求められています。知恵によって差別化技術を用いて、従来にない商品やサービスを開発・販売することができます。

このような複雑な経営環境の中で、中小企業や小規模事業者は、人的資本が少ない状況です。大手企業でも新卒採用難の時代になってきました。特に中小企業や小規模事業者は新卒の採用が非常に厳しい状況です。また、中途採用やシルバーでも採用が厳しくなっています。

このため、中小企業や小規模事業者が活性化できるように政府の施策を最大限活用しつつ、DX化を用いた事務の効率化やロボット化を用いた革新的な生産改革等の要求が高くなってきています。中小企業者や小規模事業者に、これらの技術を紹介、支援するのが、われわれ中小企業診断士の役目と思われれます。

昨年度の「攻めへの拡大展開」から今年度は個々事業者へのきめ細かな支援活動として「人的資本への支援」を図りたいと思います。

また、当協会内の「人的資本の充実」も重要な課題です。そのために、企業内診断士を含む会員のスキル向上、また会員満足の向上にいままで以上に力を注いでいきます。



1-2. 協会事業・活動の基本的な目的

目的

- ①政府の中小企業や小規模事業者に対する施策が広く効率よく、中小企業に行きわたるよう、サポートする。
- ②中小企業支援機関・経済団体・金融機関・行政・その他支援機関と、より一層の連携性を強め、中小企業や小規模事業者をサポートしていく。
- ③中小企業や小規模事業者への経営課題の解決するために迅速にサポートする。
- ④会員（プロコン及び企業内診断士）への支援を強化し、満足度を向上させる。

1-3. 2024年度事業・活動の重点項目

2024年度の活動を含めた重点項目は下記のとおりです。

- (1) 一般社団法人中小企業診断協会（本部）と静岡県協会との連携を強化する。

- (2) 政府の中小企業施策に関して、県内の中小企業や小規模事業者への普及やサポートを積極的に行う。
- (3) 静岡県や県内各市町及び中小企業支援機関、信用保証協会、金融機関との連携をより一層強化し、会員の活動範囲を広げる。
- (4) 認定支援機関として、協会を通じた405事業を、「経営改善業務を診断士育成の場とする」「協会の収益事業の柱にする」ことを目的とし、事業を継続・発展させる。
- (5) 今後、予想される南海トラフ地震や感染症の影響を最小化させるために、中小企業及び福祉事業者や農業事業者等に対する事業継続計画（BCP）の支援を行う。
- (6) 各士業との情報交換と連携を積極的に図り、相互に信頼をアップさせる。
- (7) 国と県及び市や関連機関のからの診断関連業務受託による会員の診断実務を伸ばす。
- (8) 広報活動の強化により、当県協会の知名度を高めるために情報発信を積極的に行う。
- (9) 中小企業診断士の力量向上に向けた会員向け研修会を行う。
- (10) 会員の満足度向上のため、新たな施策を講じる。

2. 具体的な事業・活動・実施事項

2-1. 公益事業

(1) 会員関係

1) 入会促進

2024年3月31日現在の会員数228名に対し、2025年3月31日の会員数目標を250名として入会促進活動を実施する。

支援機関、更新研修参加の非会員等に対し、当県協会のPR活動を行う。

2) 資格更新支援

2024年度中の資格更新手続き者に対し、更新手続きの支援を行う。該当会員には、事前予告など早期準備を促進する。

3) 慶弔

会員の慶弔に対し、規定による慶弔金及び見舞金の支給を行う。

4) 会 費

年会費納付案内にしたがい、6月30日までに納入していただく。

年会費未納者（延滞者）に対しては次のような対応をし、未納を防止する。

- ① 11月末日までの未納者に対しては、督促状を送付する。
- ② 3月20日までの未納者に対しては、退会扱いとする。
- ③ 退会扱いとなっても、定款第10条の規定により、会費の納付義務は免れない。

【納付されるまで請求（督促）を行う】

5) 中小企業診断士賠償保険集団加入

協会の所定の事業に担当診断士として関わる会員には、標記保険に加入していただくこととします。

6) 引き続き、コンプライアンスの徹底

7) 会員への情報提供として、メーリングリストで本部や官公庁から届いた情報を適宜転送

(2) 一般社団法人中小企業診断協会（本部・他都県協会）との連携

- 1) 1人あたりの会費の内、100人まで10,000円、101人以上15,000円を本部会費として納付する。
- 2) 南関東ブロックの都県協会との連携を図る。（会議・セミナー）
- 3) 診断士手帳は、本部から買い取り、時期が来たら会員全員に配布する。
- 4) 本部の情報システムの利用・活用促進を実施する。
①マイページの活用 ②メルマガ（企業診断トピックス）の登録促進
- 5) その他、本部からの要請事項にも協力していくとともに、相談にも応じていただく

(3) 研 修 事 業

1) 会員向けセミナー・研修

会員の希望やニーズに応じ、また当面の事業内容に必要な、スキルアップ研修・セミナーを実施する。

- ① 開催回数・時期：3回を予定
- ② 開催方法：リアルまたはハイブリッド研修
- ③ 講師：会員または外部講師

2) 実務ポイント支援

企業内診断士等の実務ポイント取得支援のために、「実務ポイント相談室（仮）」を設置。以下のような様々なスタイルでの支援（現在検討中）を通じて、会員の資格更新をサポートする。

- ① 研究会を通じた、実務ポイントの取得支援
- ② プロコンの顧問先紹介による、実務ポイント取得支援
- ③ 経営相談窓口等の派遣による、実務ポイント取得支援
- ④ プロボノ活動などの参加による、実務ポイント取得支援

3) 企業内診断士研修・交流

企業内診断士会員に対し、広く交流と研修の場を設定することで、有意義な企業内診断士のネットワーク構築を目的として実施する。

その推進集団として、企業内診断士研究会の活動を支援する。

①開催予定：年間数回開催、少なくとも 2025 年 2 月の土曜日など 1 回はイベント開催

②開催方法：オンラインまたはハイブリッド開催

③内容：情報交換会、会員企業内診断士どうしが専門分野の講師になった勉強会や、他協会のプロコン会員や熱心に活動している企業内診断士集団の代表、その他企業内診断士会員のニーズに基づく外部講師を招いての講演など

4) プロボノ活動

上記企業内診断士の活動の中で、有志から強い希望があり、条件などが整って本部からの承認が得られれば、別途（企業内診断士研究会の分科会的位置づけとする）、4 名程度でチームを立ち上げて、自主的にプロボノ活動に対応する。また複数チーム可能とする。

目的は、社会（中小企業）貢献と結果としての企業内診断士の診断スキルアップである。当県協会（企業内診断士事業担当理事、事務局等）は、チームから求められれば、相談対応などの支援を行うこととする。

※プロボノ活動とは本部補助事業で、中小企業支援機関（商工会議所、商工会等）からの紹介企業に対し、企業内診断士がチームで、募集・選定した会員プロコン講師の支援のもとに 3 日間の診断実習を行い、結果的に実務ポイントも得られる。

5) 研究会活動促進、支援（現在 11：各研究会の計画は後述）

会員の自主的な研究会活動を促進し、診断士としてのスキルアップや知識拡大、また研究会活動を通じての中小企業支援を図る。研究会の会員どうしの交流・連携も醸成していく。

当県協会の研究会規程により公認された研究会で、規程の助成金支給要件に合致する場合は、1 回以上開催した月（ただし 1 回会員 3 名以上参加）× 3,000 円（税込）の助成金を年度末に支給する。

当協会研究会規程第 3 条による（助成金支給の）公認要件。

- ① 研究会の会員は、協会会員が 5 名以上である。
- ② 研究会の会員のうち、協会会員の割合が概ね 7 割以上である。
- ③ 代表者は当協会会員である。

なお、一般社団法人中小企業診断協会の「調査研究事業」などに応募希望する研究会の支援も行っていく。

(4) 各中小企業支援組織・団体・金融機関との連携

1) 静岡県

静岡県の中小企業施策の普及に会員ともども協力をする。

2) 静 岡 市

①B・n e s t 窓口相談員

静岡市中小企業支援センターが毎週月曜日から金曜日まで開設している経営相談コーナーへ会員を派遣する。土曜日にも要請があれば派遣する。本年度一部相談員が交代予定のため交代会員を募集・選考し、B-nest 事務局へ推薦する。

②静岡市女性活躍推進協議会

静岡市女性活躍推進協議会委員として会議に出席し、事業の推進に協力する。

③その他静岡市の中小企業施策の普及に会員ともども協力をする。

3) 静岡市以外の自治体についても、要請があれば素早く対応する

4) 公益財団法人静岡県産業振興財団

①経営相談コーナー（実務ポイント対象）

公益財団法人静岡県産業振興財団が毎週水曜日に開設している経営相談コーナー（静岡県産業経済会館4階）に会員を派遣する。

②専門家派遣事業

会員に対し、専門家派遣事業への登録を促進し、事業の効果的遂行に協力する。

各案件については財団から登録診断士へ直接依頼・打診される。

5) 静岡県中小企業活性化協議会（中小企業再生支援協議会と経営改善支援センターが統合）

①同協議会主催の全体会議や認定支援機関向けの行事に出席し、情報交換等を行う。

②認定支援機関として、405事業等の円滑な推進に協力する。

6) 静岡商工会議所・浜松商工会議所その他商工会議所

①各会議所と関係会員との連携を促進し、専門家派遣などにも協力していく。

②2023年に継続して静岡商工会議所並びに浜松商工会議所では2024年4月1日～2025年1月末まで相談員の事業を継続する。

③事業協力の要請があれば、鋭意対応していく（収益事業化）。

7) 静岡県商工会連合会

①小規模企業ビジネスパワーアップ支援事業等 専門家派遣事業協力

会員に対し、専門家としての登録を促進し、事業の効果的遂行に協力する。

②小規模企業持続化補助金普及協力

「小規模事業者持続化補助金（小規模事業者支援パッケージ事業）」の普及及び審査員として協力する。

8) 静岡県中小企業団体中央会

①ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の普及及び審査員として協力する。

②大会等への出席

「中小企業団体静岡県大会」等にコロナの状況に応じて出席または協賛する。

③専門家の派遣

派遣依頼あれば、会員を専門家として紹介し、事業の効果的遂行に協力する。

9) 静岡県生活衛生営業指導センター

①生活衛生関係中小事業者支援のため、連携を強化していく。

2024年度も訪問相談員を実施することになった。

②また、事業協力要請があれば対応していく（収益事業化）。

10) 静岡県事業承継・引継ぎ支援センター

静岡県事業承継ネットワーク構成員として、「静岡県事業承継・引き継ぎ支援センター」活動に協力する。

11) 公益財団法人静岡県農業振興公社（静岡県農業経営相談所）

会員に対し、静岡県農業経営相談所が実施している専門家派遣事業への専門家登録を、公社の事業遂行に即した形で促進するため、会員への情報提供など協力する。

各案件については公社から登録診断士へ直接依頼等される。

12) 金融機関等

①相談員派遣

「しんきんビジネスマッチング」が開催され、経営相談コーナー相談員（若干名）の要請あれば対応し派遣する（実務ポイント対象）。

②講師または専門家派遣

金融機関から講師等の依頼があった場合は、会員に対し公募・推薦する。

金融機関から報酬を収受した会員は、所定の分を協会に事務手数料として納付する（収益事業化）。

③日本政策金融公庫

令和元年10月に締結した「中小企業の事業継続計画（BCP）策定支援に関する覚書」による連携事項の推進を図る。

④静岡県信用保証協会

連携して中小企業支援を行えるよう、新規会員の紹介等、積極的な情報交換などを行って行く。

13) 経済団体訪問

新入会員又は希望会員に対し、経済団体訪問を実施する。

訪問先と協議・調整しながら、可能であれば、静岡県産業経済会館内の経済団体（静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、静岡県産業振興財団、他）を協会役員等引率のもと、新入会員や希望者等で訪問し、情報交換などを行う。

1 4) 静岡県専門事業者団体連絡協議会への参加

静岡県専門事業者団体連絡協議会は、構成団体間（行政書士、宅地建物取引士、土地家屋調査士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士）の密接な連携により、その共通する事業を行い、中小企業を連携して支援することや地域社会の発展並びに公共福祉の増進に貢献するとともに、相互の発展と親睦を図ることを目的としている。

2024年7月の協議会には、役員レベルで対応する。

また、2024年11月30日（土）に「くらしの無料合同相談会」が開催される予定で、2名の会員を相談員として公募し派遣する予定（実務ポイント対象）。

1 5) 日本弁理士会東海支部との意見交換会

弁理士会と中小企業の知的財産権問題や経営革新計画に関して連携・協力するため、役員レベルで意見交換会を開催予定。

1 6) 富士市地域産業支援センター（Beパレットふじ）との連携

企業内診断士や新人プロコンの相談対応

Beパレットふじで月1回（診断士の特設相談日）を設けてもらい、相談対応する。

2024年6月～2025年3月の予定で実施する。

相談対応は中小企業診断士1名に対し富士市の職員またはよろずコーディネータ、商工会議所の経営相談員、トーマツ職員等が同席し、実務ポイントが付与される。

1 7) 南関東ブロック会議

南関東ブロック会議を当県協会の当番で行う。日時は2024年10月頃を予定。

1 8) その他の連携

その他の連携案件あった場合には、理事会で協議し、対応を決定していく。

(5) 広 報 事 業

1) 広報誌の発行

①「診断士広報しずおか219号」を2024年9月発行予定（700部）

- ・更新研修で会員及び研修参加の非会員にも配布し、県協会への入会を勧奨。
- ・中小企業診断士の日事業の詳細等について告知。

②「診断士広報しずおか220号」を2025年3月発行予定（400部）

- ・診断士の日イベントその他の協会の活動状況を伝える。

上述の連携機関や団体にも配布する。

会員や研究会からの各種原稿も募集強化する。そのため、(当事業担当者の増員など原稿募集、編集体制を強化する。

2) ホームページの改修

- ・ 県協会のホームページを充実させるために、改修する。
- ・ 会員の情報をお知らせし、ビジネス展開につなげる。
- ・ 当協会について広報すべき内容を随時更新し掲載する。

3) マスコミの活用

- ・ 新聞等マスコミ記事掲載等を利用して、中小企業診断士制度の普及を図る。
- ・ 行政や経済団体、金融機関との連携事業など、露出を期待する。

4) 県協会パンフレットの活用

- ・ 協会案内を活用し、外部との接触機会を利用して、PR活動を強化する。

(6) 「中小企業診断士の日」事業

平成28年度に制定された11月4日の「中小企業診断士の日」イベントとして、「静岡県中小企業診断士フェスタ2024」などを開催する。(全国の協会一斉事業)
中小企業診断士の知名度向上と活動を周知するとともに、地域中小企業に貢献できるような事業を行う。

- ① 開催日時 : 2024年11月上・中旬
- ② 開催方法 : リアルまたはハイブリッドによって実施する。
- ③ 内容や講師: 今後会員の皆様のご意見も伺いながら、担当理事や理事会中心に企画する。
会員の皆様には当日参加や事業者・支援機関へのPRなどご協力よろしく
お願いいたします。

2-2. 理論政策更新研修

本年度における理論政策更新研修(中小企業庁から本部経由での受託事業だが、収支差は本部へ返納するので厳密には当協会の収益は発生しない)は、静岡会場2回、浜松会場1回、合計3回の開催とする。日程は次のとおり予定する。

(第1回) 2024年9月7日(土) 静岡労政会館 5階ホール (テーマ1, 2, 3)

(第2回) 2024年9月21日(土) アクトシティ浜松 コンgressセンター31会議室
(テーマ1, 2, 3)

(第3回) 2024年10月5日(土) 静岡労政会館 5階ホール (テーマ1, 3, 4)

テーマは下記のとおりです。会場によってテーマが異なります。ご注意ください。

テーマ1「新しい中小企業政策」

テーマ2「中小企業の人材戦略支援」

テーマ3「中小企業のイノベーション活動支援」

テーマ4「中小企業の事業承継」

受講定員: 各会場150人予定

【更新研修実施方法】

- ・いずれもリアルのみで行う。
- ・後日、更新研修開催案内は改めて発表するが、一般社団法人中小企業診断協会（連合会本部）のホームページから申込みのみの扱いとする。またネット申込方法の案内を適切に行う。
- ・会員受付は、一般より1週間先行して、2024年7月16日（火）から行う予定。

2-3. 収 益 事 業

（1）経営革新等支援機関（認定支援機関）活用

1) 経営改善計画作成事業（405事業）

経営革新等支援機関として、「経営改善計画」の策定を受託する。

- ・金融機関等からの依頼があった場合は、会員からの公募により、担当者を推薦し、決定する。ただし、金融機関がトレーナー・トレーニー制度での希望の場合は、診断士協会にて担当するトレーナー、トレーニー診断士を決定する。実施担当者に決定した会員は、静岡県中小企業活性化協議会への報告等、事務処理まで含め遂行していただく。（協会事務局業務は会長印捺印と謝金の精算・支払のみ）
- ・静岡県中小企業診断士協会を認定支援機関の担当者として活用する場合は（会員からの持ち込み案件）、原則としてその会員を実施担当者として、静岡県中小企業活性化協議会への報告等、事務処理まで含め遂行していただく。（協会事務局業務は会長印捺印と謝金の精算・支払のみ）
- ・事務手数料として計画策定・モニタリングの報酬に対する所定の額を受け入れる。
- ・なお、実施・進捗記録管理は事務局で行う。

2) 早期経営改善計画作成事業（ポスコロ）

経営革新等支援機関として、「早期経営改善計画」の策定を受託する。

以下は、405事業と同様の取り扱いとする。

3) 上記1) 2) の推進に関しトレーナー・トレーニー制度も活用

トレーナー・トレーニー制度の運用を継続・発展するとともに、支援機関にPRを実施して、トレーニー診断士が受注できる案件の獲得を図る。なお、新規参加希望会員は、随時募集していく。トレーニー診断士をターゲットとした有料のセミナー、研修会等を企画していく。

（2）専 門 家 派 遣

1) 静岡県信用保証協会

静岡県信用保証協会の専門家派遣事業について専門家の推薦依頼を受けた場合対応する。

- ・会員に対し担当希望者を公募する。

- ・会員からの申込書を受領し、推薦委員会（常任理事等で構成）により、推薦者を内定し、信用保証協会に推薦する。信用保証協会と協議して決定することもある。
- ・専門家派遣事業終了後、完了報告の写しを協会（事務局）に提出いただき、所定の事務手数料を受け入れる。
- ・トレーナー・トレーニー制度も活用して行うこともある。

2) 金融機関（地方銀行、信用金庫）

金融機関への専門家・講師派遣については以下とする。

- ・原則として希望する会員を公募する。
- ・推薦委員会（常任理事等で構成）により、推薦者を内定し推薦するか、または応募者名簿を依頼金融機関に提示し決めていただく。
状況に応じ協会側と依頼金融機関で協議して決めることもある。
- ・専門家または講師派遣事業終了後、担当者は協会（事務局）へ完了報告をしていただき、担当会員から所定の事務手数料を受け入れる。

3) 中小企業支援機関

その他中小企業支援機関からの専門家派遣要請あれば、理事会または緊急であれば常任理事会の議を経て速やかに対応する。

(3) 受託事業

1) 静岡県からの受託事業

静岡県からは、中小企業等収益力向上事業費補助金の審査事業（予定）、またBCP等の事業要請あれば、理事会または緊急であれば常任理事会の議を経て対応していく。

2) 静岡市からの受託事業

静岡市から事業要請あれば、理事会または緊急であれば常任理事会の議を経て対応していく。

3) 静岡県生活衛生営業指導センターからの受託事業

静岡県生活衛生営業指導センターから、生活衛生事業者の現場での経営支援に関する事業の依頼が予定されており、理事会または緊急であれば常任理事会の議を経て対応していく。

■2023年度に実施した訪問相談事業を2024年度も実施します。

4) 静岡商工会議所の窓口相談事業（事業環境変化対応型支援事業）

昨年度に続き継続実施

- ①事業環境変化対応型支援事業の相談員として2024年4月1日～2025年1月末まで静岡支所で会員が対応する。

5) 浜松商工会議所の窓口相談事業（事業環境変化対応型支援事業）

昨年度に続き継続実施する。

- ①事業環境変化対応型支援事業の相談員として2024年4月1日～2025年1月末まで会員が対応する。
- ②課題設定型フォローアップ事業として、商工会議所の経営指導員3名に対して、プロボノスタイルで会員1名が対応する（2024年実施予定）。

6) しずおか焼津信用金庫系ものづくり管理者研修講師派遣事業

4名の講師の派遣を継続の予定であるが、依頼者（同事業事務局）と協議し推進する。

- ・場所：しずおか焼津信用金庫およびZoomにて
- ・期間：2024年10月～2025年9月修了式（予定）まで

7) 食プロ育成事業

神奈川県診断士協会と連携し、食プロ育成の事業をおこなっていく。

8) その他受託事業

- ①国・県・自治体等の競争入札について、その事業内容を精査し、当協会の事業拡大・収益向上につながる事業については、入札参加を検討する。
- ②中小企業支援機関等からの要請があれば、理事会、緊急であれば常任理事会で協議・検討し受託する。

2-4. 事業推進体制の整備

(1) 協会事務局

協会事務局の受付時間はホームページでご案内します。
受付時間外は、原則として留守番電話及びメールで対応します。

(2) 事務局業務および理事の各事業業務のシステム化をさらに推進

事務局業務全般や理事の各事業業務のシステム化・効率化をさらに図り、将来に向け業務の標準化を図る。（当協会 BCP とも連動）
収益事業受託に当たっては、事務業務含む推進体制を計画した上で受託契約する。また、一部外部委託することがある場合は、十分に協議し、具体的な契約を締結した上で外注する。

(3) 協会業務全般のデジタル化の推進

当県協会の事務をDX化導入していく。導入している「サイボウズ」システムを活用し、役員間の情報共有や共通様式化、スムーズな決裁の流れなどをさらに推進する。

(4) 当協会 BCP の整備

昨年度、着手した当協会 BCP を、事務局機能の維持なども含めさらに具体化して整備し、機能できるものとする。

(5) 理事会（役員会）

定款において定められた理事会を、期間中に6回程度開催し（会長が招集）、定款で定められた業務や当協会の実務に関する意思決定を行い、事業の円滑な遂行を図る。監事及び相談役の同席を求める。議事録には監事が署名する。会長が議長を務め、会長は、サポート役として事務局員および必要な参考人を招致することもできる。

オンライン開催または併用での開催も可能とし、情報提供ツールとして役員宛メール、サイボウズも活用する。

(6) 常任理事会

常任理事会は、理事会の付託を受け、理事会へ上程する案件や内容のとりまとめ、また緊急性を要し、理事会開催では間に合わない場合などの対応を決定するために会長が招集するものである。会長、副会長・専務理事（以上定款役職）と常任理事および事務局長（協議・決定内容を直接事務局も把握・処理するため会長からの要請で出席）で構成し、会務の円滑な遂行のため、必要に応じ随時開催する。会長はサポート役として事務局員その他必要な参考人を招致することもできる。

オンライン開催または併用での開催も可能とし、情報提供ツールとして役員宛メール、サイボウズも活用する。

(7) 本議案に記載なき事項の対応

本議案に記載なき事項が発生した場合は、理事会また急を要する場合には常任理事会にて協議し、対応する。

以上

カーボンフリー研究会 令和6年度 年間活動計画書

2023 年 3 月 9日

【研究会名】カーボンフリー研究会			
【研究テーマ】 脱炭素化要求に応えられるコンサルタントとなることで、 静岡県内の企業と共に脱炭素化社会の実現を目指す			
【今期の活動期間】 2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
【今期の活動テーマ】 脱炭素化をすでに推進している企業の先端事例を研究していき、 脱炭素化を推進したい企業と連携して計画を策定していく。			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月	今年度活動方針会議	10月	研究報告
5月	研究報告	11月	研究報告
6月	研究報告	12月	研究報告
7月	研究報告	1月	研究報告
8月	研究報告	2月	研究報告
9月	研究報告	3月	年度末振り返り
【代表者】 鈴木宣二			
連絡先住所 〒430-0924		静岡県浜松市中区龍禅寺800-2	
TEL (053) 452 -6882		FAX () -	
E-Mail senjisuzuki@khc.biglobe.ne.jp			
【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする			
代表者 鈴木宣二			
副代表			
会計 大橋昌弘			
会員 竹内康博、増井周司、宮野正克、森下直計、伊藤 直樹、水島大統、矢野陽介 河合良樹、乗松 寿			

届出者名：大橋昌弘

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には一年間の具体的な内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

マネジメント研究会静岡 令和6年度 年間活動計画書

令和6年3月19日

【研究会名】 マネジメント研究会静岡			
【研究テーマ】			
メンバーのスキルアップおよびメンバー相互の交流の場の提供			
【今期の活動期間】			
令和6年4月1日～令和7年3月31日			
【今期の活動テーマ】			
メンバーの専門分野や研究テーマを発表・神奈川県支部の研究会「平八会」との交流会			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月	会員自主テーマ・研究発表（1）	時期未定	神奈川県支部「平八会」との交流会
5月	会員自主テーマ・研究発表（2）	1 1月	会員自主テーマ・研究発表（6）
6月	会員自主テーマ・研究発表（3）	1 2月	会員自主テーマ・研究発表（7）
7月	会員自主テーマ・研究発表（4）	1月	会員自主テーマ・研究発表（8）
8月	会員自主テーマ・研究発表（5）	2月	会員自主テーマ・研究発表（9）
9月	研究会の総会（予定）	3月	会員自主テーマ・研究発表（10）
【代表者】 氏 名 柴田 巧			
連絡先住所 〒427-0107 静岡県島田市船木2337-1			
TEL 0547-32-9281 FAX 0547-32-9281			
E-Mail takumi.shibata@nifty.com			
【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする			
代表者	柴田 巧		
副代表	-		
会計	村井 裕人		
会員	秋山一賀・石井洋之・石川雅三・伊藤直樹・加藤雅史・後藤泰山 白井康裕・高橋祐貴・辻本元彦・堀江良則・森 利彦・（加藤俊文）		

届出者名：柴田 巧

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

海外事業展開研究会 令和6年度 年間活動計画書

2024年 3月 日

【研究会名】 海外事業展開研究会			
【研究テーマ】			
海外事業展開に関わる支援方法の研究			
会員の専門知識等の相互共有			
【今期の活動期間】			
2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月31日			
【今期の活動テーマ】			
海外事業展開に関わる支援方法の研究			
会員の専門知識等の相互共有			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月20日	海外展開に関わる支援方法研究 会員の専門知識等の相互共有 (詳細未定)	10月19日	海外展開に関わる支援方法研究 会員の専門知識等の相互共有 (詳細未定)
5月18日	- -	11月16日	- -
6月15日	- -	12月21日	- -
7月20日	- -	1月18日	- -
8月17日	- -	2月15日	- -
9月21日	- -	3月15日	- -
【代表者】 早川 昌司			
連絡先住所 〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2-13-4			
TEL (090) 8552-4963		FAX () -	
E-Mail hayakasj6@gmail.com			
代表者	早川 昌司	松島 寛	
会計	小川 裕史	島上 貴臣	
会員	若林 信一	乗松 寿	
会員	三宅 倫代		

届出者名： 早川 昌司

委員長承認印：



会長承認印：





※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

企業内診断士経営研究会 令和6年度 年間活動計画書

令和6年3月6日

【研究会名】 企業内診断士経営研究会			
【研究テーマ】 企業内診断士として本業で得た知識やスキルを活かして中小企業の支援を行う			
【今期の活動期間】 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
【今期の活動テーマ】 ①中小企業支援のための知識習得支援（補助金の申請、工場見学など） ②コンサルティング機会の確保			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月	・年度計画の発表、業界研究、勉強会発表者の募集	10月	・業界研究発表 ・コンサルティング案件の進捗報告
5月	・業界研究発表	11月	・企業内診断士研修・交流会の企画検討 ・コンサルティング案件の進捗報告
6月	・工場見学	12月	・企業内診断士研修・交流会の準備 ・コンサルティング案件の進捗報告
7月	・中小企業支援のための補助金勉強会	1月	・コンサルティング案件の成果発表
8月	・コンサルティング案件の振り分け	2月	・年度内活動の振り返り
9月	・企業内診断士研修・交流会の内容検討 ・コンサルティング案件の進捗報告		
【代表者】鈴木 篤史			
連絡先住所 〒 432-8047 浜松市中央区神田町360-19			
TEL (090) 6179-4369 FAX () -			
E-Mail attsu1006@gmail.com			
【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする			
代表者	鈴木 篤史	オブザーバ	増田 徳好
副代表	大石 聡司		
会計	同上		
会員	高井宏治、荷宮章吾、橋本崇、橋本由香里、小林幸宏、高橋祐貴 森下直計、山下友樹、石川雅三、藤村孝暢、水島大統		
届出者名：鈴木篤史		委員長承認印： 	会長承認印： 

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。
当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

経営革新研究会 令和6年度年間活動計画書

令和6年3月1日

【研究会名】 経営革新研究会			
【研究テーマ】			
1 活動方針：地域産業の動向に対応し、経営革新に役立つ研究・開発及び、支援活動を推進する。			
2 専門分野：「経営革新」「働き方改革」「生産管理」「ISO」及び「中小企業のDX」ほか。			
【今期の活動期間】			
令和6年4月1日～7年3月31日：例会、通常、毎月、第2日曜日			
● 新型コロナウイルス感染状況に応じて、日程変更や、オンライン方式を採用する。			
【今期の活動テーマ】			
開催月の時宜を得たテーマ(意見交換)+会員持ち回りの自由発表			
【今期の活動計画】(以下の会合開催予定等,その都度、会員案内により確定)			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月14日	時宜を得たテーマ + 持ち回り自由発表	10月13日	時宜を得たテーマ + 持ち回り自由発表
5月12日	同上	11月10日	同上
6月9日	同上	12月8日	同上
7月14日	同上	1月	交流会
8月	(酷暑期のため、休会)	2月9日	時宜を得たテーマ + 持ち回り自由発表
9月8日	時宜を得たテーマ + 持ち回り自由発表	3月9日	同上
● Web会議方式(zoom)を状況に応じて活用する。			
【代表者】氏名 小杉 俊雄			
連絡先住所 〒433-8127 浜松市中央区和合北2-6-54			
TEL 053-473-7668 FAX 053-488-8491			
E- t-kosugi573@shirt.ocn.ne.jp			
代表者	小杉俊雄	会員	小山徹二、小杉俊雄、本間 稔
副代表	(流王明美)		辻本元彦、藤田真弘、道上佳宏
会計	(南陽慶太)		(南陽慶太)(流王明美)
			会員数8名(うち会員外2名)
届出者名:小杉俊雄		委員長承認印:	会長承認印:
<p>※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、 【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。</p> <p>当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の口にチェックを入れてください。</p> <input checked="" type="checkbox"/> 協会会員が5名以上である。 <input checked="" type="checkbox"/> 協会会員の割合が概ね7割以上である。 <input checked="" type="checkbox"/> 代表者は協会会員である。			

経営戦略研究会 令和6年度 年間活動計画書

令和 6年 3月12日

【研究会名】経営戦略研究会			
【研究テーマ】中小企業の経営戦略を研究し、地域経済の発展に寄与することを目的とする。			
【今期の活動期間】			
令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
【今期の活動テーマ】			
1. 会員個人の発表による経営戦略及び周辺知識の共有			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月21日	研究会員による発表	10月20日	研究会員による発表
5月19日	研究会員による発表	11月17日	研究会員による発表
6月16日	研究会員による発表	12月15日	研究会員による発表
7月21日	研究会員による発表	1月19日	研究会員による発表
8月18日	研究会員による発表	2月16日	研究会員による発表
9月15日	研究会員による発表	3月16日	研究会員による発表
【代表者】 氏 名 柴山幸司			
連絡先住所 〒434-0042 静岡県浜松市浜名区小松4346-7			
TEL (053) 589 - 3223 FAX (053) 443 - 9342			
E-Mail hbsconsul@gmail.com			
【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする			
代表者	柴山幸司		
副代表	門奈一徳		
会計	柴山幸司		
会員	妹川聡、名倉真史、石川政三、藤村孝暢、林正和、清水将友、伊藤一規 紅林慶太、乗松寿、小口章浩		

届出者名：柴山幸司

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

再生支援研究会 令和6年度 年間活動計画書

2024年3月8日

【研究会名】再生支援研究会			
【研究テーマ】 中小企業の経営に役立つ改善計画、事業再生計画の作成及びその実行の伴走者として、中小企業診断士に必要なスキル・手法について研究する			
【今期の活動期間】 <p style="text-align: center;">2024年4月1日 ～ 2025年3月31日</p>			
【今期の活動テーマ】 ・未定 しばらく充電期間としてこれまでの内容の整理期間とさせていただきます。 また再開する際にご案内させていただきます。			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
	未定		
【代表者】 小楠 貴宏			
連絡先住所 〒433-8125 浜松市中区和合町1251-9			
TEL 090-9316-8763 FAX () -			
E-Mail t_ogu@yb3.so-net.ne.jp			
【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする			
代表者	小楠 貴宏		
副代表	馬淵 裕一		
会計	磯 裕		
会員	妹川聡、佐野洋一、久保田光彦、仲田剛、土田卓也、門奈一徳、小林幸宏、柴田巧、早川昌司、小西兼幸、後藤泰山、池谷太志、塚本育男、岡村拓弥、深見剛彦、小林昌宏、石川雅三、早野智博、本木太基、伊藤直樹、小杉俊雄、（渡邊宏泰）（順不同、敬称略）		
届出者名：小楠 貴宏 委員長承認印：  会長承認印： 			

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

補助金研究会 令和6年度 年間活動計画書

2024年3月1日

【研究会名】 補助金研究会

【研究テーマ】

中小企業の振興施策に沿って経済産業省・中小企業庁・地域行政機関等から打ち出される、またはすでに打ち出されている各種補助金について、その内容研究とそれらの申請支援実務に関する研究

【今期の活動期間】

令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

【今期の活動テーマ】

事業再構築補助金変わって打ち出される新しい補助金に関する研究と既存の中小企業振興のための各種補助金等についての研究

【今期の活動計画】（会合開催予定等）

月 日	内 容	月 日	内 容
4月24日	4月定例会：講演・情報交換	10月23日	10月定例会：講演・情報交換
5月22日	5月定例会：講演・情報交換	11月27日	11月定例会：講演・情報交換
6月26日	6月定例会：講演・情報交換	12月25日	12月定例会：講演・情報交換
7月24日	7月定例会：講演・情報交換	1月23日	1月定例会：講演・情報交換
8月28日	8月定例会：講演・情報交換	2月26日	2月定例会：講演・情報交換
9月25日	9月定例会：講演・情報交換	3月26日	3月定例会：講演・情報交換

【代表者】 氏 名 大石育三

連絡先住所 〒416-0946

富士市五貫島639-2

TEL (0545) 64-0147

FAX (0545) 63-8994

E-Mail oishibusiness@ozzio.jp

【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする

代表者 大石育三


副代表 豊田和之

会計 石井洋之

会員

大石育三、豊田和之、石井洋之、小山徹二、小口章治、岩田光弘、
寺嶋邦浩、新井陽子、門奈一徳、村井裕人、竹内康博、八木宏昌、
大槻頼克、紅林慶太

届出者名： 石井洋之

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。
当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。
 協会会員が5名以上である。
 協会会員の割合が概ね7割以上である。
 代表者は協会会員である。

商業まちづくり研究会 令和6年度 年間活動計画書

令和 6年 3月 9日

【研究会名】 商業まちづくり研究会（まち研）			
【研究テーマ】 1. 地域経済やまちなかの活性化、文化やコミュニティのあり方を研究する。 2. 人口減、少子高齢社会における経営のあり方や地域、商店街組織等の存続策等を考え、中小企業診断士としての対応スキルの研鑽を図る。			
【今期の活動期間】 （今年度は13年目） 令和 6年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月 31日			
【今期の活動テーマ】 物価上昇等の厳しい環境下、上記テーマを具体的に深耕する。 厳しい経営環境にある事業主・商店街・まちなかの支援方法の研究、参考となる「現場」へ視察と報告書作成、各研究会員から報告・発表・議論及び外部講師の研修を実施する。			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）（基本：第2土曜日）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月13日	定例会	11月	定例会
5月	定例会	12月	定例会
6月	定例会	令和7年1月	定例会
7月	定例会	3月	定例会（次年度活動計画作成）
9月	定例会		（8月・令和7年2月休会予定）
10月	定例会		（定例会に関わらず、視察やコンサルに出向く。又、臨時会合も随時行う。）
【代表者】 氏 名 三宅 倫代			
連絡先住所 〒420- 静岡県静岡市葵区			
TEL (054) 246-8856		FAX 同 左	
E-Mail subaru_m@mua.biglobe.ne.jp			
【参加メンバー】			
代表者・会計 三宅 倫代		会 員 藤村孝暢、山本大輔	
副代表 高橋 洋介		(内山将希)(中野俊之)	
会 員 菊間範明、中島裕一、久保田光彦			
妹川聡、大橋義治、勝又徹			
小林幸宏、竹澤宏、田代卓靖			
届出者名：三宅 倫代		委員長承認印： 	会長承認印： 



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

農業経営研究会 令和6年度 年間活動計画書

2024年3月31日

【研究会名】農業経営研究会			
【研究テーマ】農林漁業の研究を主目的とするが、6次産業化をはじめ高付加価値を図るために必要となる生産、製造技術、経営、マーケティング、BCP、スマート農業等の幅広い分野にも着目する。			
【今期の活動期間】			
令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
【今期の活動テーマ】			
農業分野においてもウイズコロナにおける需要の減少を見極めつつ、ビジネスモデルを事業再構築する事例研究と農業BCP、食糧安全保障への提案を活動テーマとする。			
【今期の活動計画】（会合開催予定等）			
月 日	内 容	月 日	内 容
4月21日	農業経営事例の研究	10月20日	農業経営事例の研究
5月19日	農業経営事例の研究	11月17日	農業経営事例視察
6月23日	農業経営診断事例の研究	12月15日	農業経営診断事例の研究
7月21日	農業経営事例の研究	1月19日	農業経営事例の研究
8月18日	農業経営事例視察	2月16日	農業経営事例視察
9月15日	農業経営診断事例の研究	3月16日	農業経営診断事例の研究
【代表者】 氏 名 大石育三			
連絡先住所 〒416- 0946			
TEL (0545) 64-0147		FAX (0545) 63-8994	
E-Mail oishibusiness@ozzio.jp			
代表者	大石育三		
副代表	酒井輝治		
会計	本間 稔		
会員	鈴木悦治、石井洋之、加藤琢麻、内藤文俊、大橋昌弘、海野英介 (上村 翔)、藤村孝暢		
届出者名：大石育三	委員長承認印：		会長承認印：
			

※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動成果】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

災害対策研究会 令和6年度 年間活動計画書

2024年3月25日

【研究会名】 災害対策研究会

【研究テーマ】 いつ発生してもおかしくない各種の大規模災害時において、静岡県災害対策士業連絡会の一員として、他の士業と共同して被災中小企業に対して中小企業診断士としての知見を活かした支援をするために必要な知識や支援の技術を修得する。

【今期の活動期間】

2024年4月1日 ～2025年3月31日

【今期の活動テーマ】

災害時に他の士業と強調して、被災中小企業への支援の知識と支援技術を修得する。

【今期の活動計画】（会合開催予定等）

月 日	内 容	月 日	内 容
4月20日	災害対策士業連絡会の概要	10月19日	災害時の被災中小企業への支援知識
5月18日	災害時の士業の役割	11月16日	災害時の被災中小企業への支援知識
6月15日	災害時の被災中小企業への支援知識	12月21日	災害時の被災中小企業への支援知識
7月20日	災害時の被災中小企業への支援知識	1月18日	災害時の被災中小企業への支援知識
8月17日	災害時の被災中小企業への支援知識	2月15日	災害時の被災中小企業への支援知識
9月21日	災害時の被災中小企業への支援知識	3月15日	災害時の被災中小企業への支援知識

【代表者】 氏 名 石井洋之

連絡先住所 〒420-0923 静岡県静岡市葵区川合2-18-45

TEL (090) 9022-4937 FAX (なし)

E-Mail jo2jno@mxy.mesh.ne.jp

【参加メンバー】 各自の役割分担も併記のこと 会員外は氏名を（ ）とする

代表者	石井洋之	研究会の統括
副代表	大石育三	会長補佐
会計	竹内康博	事務局
会員	豊田和之	一般会員
会員	片桐新悟	一般会員

届出者名： 石井洋之

委員長承認印：



会長承認印：



※【研究テーマ】欄には、研究会の設立趣旨にもとづくテーマの概要を記入し、
【今期の活動計画】欄には予定している活動内容を記入してください。

当協会研究会規程第3条の条件を確認し、次の□にチェックを入れてください。

- 協会会員が5名以上である。
- 協会会員の割合が概ね7割以上である。
- 代表者は協会会員である。

第4号議案

一般社団法人静岡県中小企業診断士協会 令和6年度収支(正味財産増減計算書)予算(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(金額単位:千円)

	令和6年度予算額			令和5年度決算額			備 考 (さらに明細は、明細表備考参照)
	公益事業	収益事業	合 計	公益事業	収益事業	合 計	
(1)経常収益							
基本財産受取利息			0			0	
受取会費・入会金	10,911		10,911	10,479		10,479	会費・入会金
研修事業収入	300		300	324		324	セミナー・実務ポイント・企業内診断士研修・研究会支援等
認定支援機関収入		3,188	3,188		3,467	3,467	経営改善計画(405・ポストコロ事業)等
専門家派遣収入		49	49		49	49	再構築等補助金支援、信用保証協会等
更新研修収入		2,835	2,835		2,658	2,658	更新研修受講料
その他受託事業収益		21,813	21,813		20,390	20,390	静岡県、浜松・静岡商議所相談、生衛センター しずおか焼津信金 他
			0			0	
雑収益受取利息		0	0	0	1	1	
その他雑収益		0	0	15	0	15	
経常収益 計	11,211	27,885	39,096	10,818	26,565	37,383	
(2)経常費用							
①事業費							
診断協会連合会費等	2,965		2,965	2,877		2,877	本部会費
研修事業費	1,297		1,297	811		811	セミナー・実務ポイント支援・企業内診断士研修・研究会支援等
広報事業費	514		514	271		271	広報、HP(決算は県協会事業費に含む)
診断士の日イベント事業費	120		120	124		124	講師謝金等
認定支援機関事業費		2,869	2,869		3,019	3,019	経営改善計画(405)謝金等(トレーニー事業)
専門家派遣事業費			0		0	0	専門家謝金等(未確定は計上せず)
更新研修事業費		2,335	2,335		2,156	2,156	更新研修事業費、残金本部返納
その他受託事業費		18,907	18,907		17,267	17,267	静岡県、浜松・静岡商議所相談、生衛センター しずおか焼津信金 他
県協会事業費	784		784	755		755	総会、理事会、各種会議開催・参加等、PR他
租税公課		700	700		721	721	消費税
事業費小計	5,680	24,811	30,491	4,838	23,163	28,001	
②管理費							(管理費の予算は合算で表示)
役員報酬			650	162	398	560	役員報酬規程による
給料手当			3,500	955	2,346	3,301	事務局業務給与、理事業務手当
法定福利+福利厚生費			300	5	12	17	社会保険料・通勤費・慶弔費
交際費			0	0	0	0	
会議費				1	1	2	事務関係会議
旅費交通費			500	123	302	425	リモート進み減少傾向
通信費			900	184	452	636	
消耗品費			150	33	82	115	事務用品
水道光熱費			60	16	39	55	
支払手数料			800	212	520	732	会計業務委託、振込・ネットバンキング手数料
地代家賃			1,319	336	825	1,161	ペガサート3階事務所家賃
リース料			180	44	108	152	コピー複合機等
保険料			40	11	27	38	損害賠償保険料、火災保険料
租税公課			50	0	0	0	契約書印紙
雑 費			80	9	22	31	上記に該当しない諸経費、予備費
管理費小計			8,529	2,091	5,134	7,225	
経常費用 計			39,020	6,929	28,297	35,226	
当期経常増減額			76	3,889	△ 1,732	2,157	
前期損益修正					△ 418	△ 418	前年度分損益修正
法人住民税			71		71	71	均等分
当期正味財産増減額			5	3,889	△ 2,221	1,668	
一般正味財産期首残高			13,872			12,204	
一般正味財産期末残高			13,877			13,872	

※令和6年度の収益は受注が決定したものだけを計上した。
 ※ 収入の増加については、理事会決議を必要としない。
 ※ その他受託事業については、事業の実施(収支予算)を理事会決議で認める。
 ※ 科目間の流用は、理事会決議で認める。
 ※ 次年度の4月1日から総会までの支出については、今年度準じて執行することを認める。

令和6年度 予算書(明細表)

一般社団法人 静岡県中小企業診断士協会

(単位:千円)

中分類	細分類	令和6年度予算			備 考
		収入額(A)	支出額(B)	差引(A)-(B)	
1 会費・入会金	(1) 受取会費・入会金	10,911		10,911	43,000×250人(231人+新入会19人:加入時期0.5年で計算)+入会金30,000円×19人予定
	(2) 診断協会連合会費		2,965	△ 2,965	10,000×100人+15,000円×131人、4月1日本部連絡会員数231
2 研修事業	(1) 会員向けセミナー・研修		150	△ 150	1回当り(講師40、会場費5、その他5)×3回分
	(2) 実務ポイント支援		500	△ 500	実務ポイント支援
	(3) 企業内診断士研修・交流		47	△ 47	研修会1回(講師20、会場費5)、交流会1回(会議費10)、資料等12
	(4) プロボノ活動支援	300	300	0	希望あり本部承認されたら2回実施 (収入)本部補助金(支出)専門家、交通費、会議費等
	(5) 研究会活動		300	△ 300	10研究会×平均10回×1回3,000円
3 相談員派遣事業	(1) 各種相談コーナーへの会員派遣		10	△ 10	
4 広報事業	(1) 広報誌		150	△ 150	1回当り75(印刷費、事務費、郵送費)×2回予定
	(2) ホームページ(情報システム費)		364	△ 364	ホームページ管理264、ホームページ改訂100(開発費500)
5 診断士の日イベント	(1) 診断士の日事業		120	△ 120	講師料80、会場費6、会議費その他14
6 県協会事業費	(1) 南関東ブロック会議		50	△ 50	他に本部補助あり
	(2) 静岡県専門事業者団体連絡協議会		59	△ 59	年会費20、相談会負担金20、会議参加負担金10、相談者・会議参加者旅費10
	(3) 日本弁理士会東海支部		35	△ 35	5名分、参加者負担金、旅費
	(4) 接待交際費		130	△ 130	中央大会協賛金他
	(5) 総会・理事会・常任理事会		500	△ 500	総会、常任理事会、理事会関係費
公益事業 小 計		11,211	5,680	5,531	
1 認定支援機関	(1) 経営改善計画作成	2,563	2,307	256	所定手数料差引協会へ
	(2) プレ経営改善計画作成	240	216	24	
	(3) 経営改善計画講習	385	346	39	所定手数料差引協会へ
2 専門家派遣	(1) 静岡県信用保証協会	49		49	所定手数料協会へ
	(2) 地方銀行	0		0	
	(3) 信用金庫	0		0	
	(4) その他支援機関	0		0	
3 受託事業	(1) 更新研修	2,835	2,335	500	450人×6300円、内人件費520(内事務局員340)、会場、講師、備品、残金は本部支払、約30万本部戻りあり
	(2) 行 政	4,000	3,600	400	静岡県関係未定
	(3) その他	17,813	15,307	2,506	浜松商工会議所相談事業8,177(1/31まで)、伴走支援180 静岡商工会議所相談事業4,928(1/31まで) 生活衛生営業指導センター1,980 しずおか焼津信金528 日本青年会議所1,140 倉プロ講座880
租税公課(消費税)			700	△ 700	
収益事業 小 計		27,885	24,811	3,774	
1 事務局費 (一般管理費)	(1) 役員報酬		650		役員報酬規程による
	(2) 給与・手当		3,500		事務員、事務局長・事務局担当理事、理事業務手当
	(3) 福利厚生費		300		社会保険料、通勤費、慶弔費
	(4) 会議費		0		
	(5) 旅費交通費		500		
	(6) 通信費		900		電話料、サイボウズ187、レンタルサーバー24、ドメイン・その他
	(7) 消耗品費		150		事務用品
	(8) 水道光熱費		60		
	(9) 支払手数料		800		会計業務委託、振込手数料、ネットバンキング手数料
	(10) 地代家賃		1,319		ペガサート3階事務所家賃
	(11) リース料		180		コピー複合機等
	(12) 保険料		40		損害賠償保険料、火災保険料
	(13) 租税公課		50		契約書印紙
	(14) 雑 費		80		上記に該当しない諸経費、予備費
事務局費 小 計		0	8,529	△ 8,529	
事業収支 合計		39,096	39,020	76	未確定な収益事業は計上していない。計上でできればその分赤字は減少する